

２ 協議会・幹事会並びに各部会の令和2年度活動報告 及び令和3年度活動計画について

項目	内容
令和2年度の活動報告	○ 令和2年4月9日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第15回) ※COVID-19の影響により資料配布 ○ 令和2年6月4日(木) 第1回幹事会 ※COVID-19の影響により資料配布 ○ 令和3年2月4日(木) 第2回幹事会 開催 ○ 令和2年10月24日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第10回「ひょうご県民がんフォーラム」Web開催 ※YOUTUBEによるライブ配信、及び開催後2週間の動画公開(視聴回数 423回) テーマ:「ここまで来た最新の肺がん治療～ロボット手術と免疫複合治療～」 担 当: 関西労災病院
令和3年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ 令和3年4月15日(木) 第16回 兵庫県がん診療連携協議会(Web開催) ○ 令和3年6月10日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和4年2月17日(木)第2回幹事会 (開催形式は未定) ○ 令和3年10月23日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第11回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 (開催方法は未定) 場 所:兵庫県民会館 9階「けんみんホール」 テーマ:「小児とAYA世代のがん」(仮) 担当病院: 兵庫県立こども病院

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
令和2年度の活動報告	○ がん看護コアナース育成セミナー(旧がん看護実務研修)の開催 (兵庫県立がんセンター) 令和 2年7月8日～8月21日のうち15日間、及びフォローアップ研修 令和 3年 2月26日(金) ※COVID-19の影響により、研修会は開催中止 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日 時：令和 2年11月14日(土) Web開催のみ 12チーム参加(4名/チーム) テ ー マ：「COVID-19流行下でのがんのチーム医療」 ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 2年10月10日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ：「がん医療におけるAI(人工知能)」 開催方法：現地とWebのハイブリッド方式(会場 22名、Web 38名) ・放射線セミナー 令和 2年10月31日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ：「食道がんの診断と治療 -update-」 開催方法：現地とWebのハイブリッド方式(会場 65名、Web 176名) ・検査セミナー 令和 2年12月 5日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ：「がん診療における循環器合併症」 開催方法：現地とWebのハイブリッド方式(会場 37名、Web 72名) ・薬剤師セミナー 令和 2年 2月12日(金)～2月22日(月) テ ー マ：「高齢者に対するがん化学療法」 ※ 令和 2年12月19日、「けんみんホール」での開催を中止し、オンデマンド配信に変更。 (視聴回数137回) ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第10回ひょうご県民がんフォーラム 令和 2年10月24日(土) テ ー マ：「ここまで来た最新の肺がん治療 ～ロボット手術と免疫複合治療～」 ※「けんみんホール」で会場参集を中止し、YouTubeによる開催のみに変更 視聴回数 423回 担当施設： 関西労災病院(持ち回り開催)
令和3年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がん看護コアナース育成セミナー(旧がん看護実務研修)の開催 (兵庫県立がんセンター) 令和3年9～10月頃 開催予定 募集人数：20名 開催方法：ZoomによるWeb開催 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第7回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日 時：令和 3年11月27日(土) 兵庫県立がんセンター2F大会議室 テーマ、開催方法は「未定」 ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 3年10月 9日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ：「がんゲノム医療の新展開」 開催方法は「未定」 ・放射線セミナー 令和 3年10月30日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ：「肺がんの診断と治療 -update-」 開催方法：会場参集とZoomウェビナーによるWeb開催(ハイブリッド方式) ・検査セミナー 令和 3年12月 4日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ、開催方法は「未定」 ・薬剤師セミナー 令和 4年 1月15日(土) 兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ、開催方法は「未定」 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第11回ひょうご県民がんフォーラム 令和 3年10月23日(土) テ ー マ：「小児とAYA世代のがん」(仮) 兵庫県民会館「けんみんホール」 開催方法：「未定」 担当施設： 兵庫県立こども病院(持回り開催)

《令和 2年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

令和 3年 3月 末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象に、がん看護実務研修改め、「がん看護コアナース育成セミナー」を企画開催する（期間：7月6日～8月26日、フォローアップ：2月26日） ○ELNEC-JIは、10月26-27開催	令和3年3月	×	未達成	当院で行われているがん看護を体験する実習がプログラムに多く盛り込まれており、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は中止とした。	その他	・今後も地域のがん看護の推進・向上にむけて効果的な研修の企画開催は必要である。感染防止を図りながら、縮小して開催することを検討している
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 令和2年11月14日(土) 兵庫県立がんセンター大会議室 テーマ：COVID-19流行下での がんのチーム医療	令和3年3月	○	概ね達成	新型コロナウイルス感染症が流行する中、Web開催などにより、医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師など、チーム医療に関わる医療従事者を対象としたセミナーや研修会を開催し、医療レベルの向上を図った。	継続	がん診療連携拠点病院、準じる病院、その他の医療機関に対して、引き続き積極的な参加を呼びかける。
			○ セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和 2年10月10日 県民会館「パルテール」 テーマ：がん治療におけるAI(人工知能) (2) 放射線セミナー 令和 2年10月31日 県民会館「パルテール」 テーマ：食道がんの診断と治療 -update- (3) 検査セミナー 令和 2年12月 5日 県民会館「パルテール」 テーマ：がん診療における循環器合併症 (4) 薬剤師セミナー 令和 2年12月19日 県民会館「パルテール」 テーマ：高齢者に対するがん化学療法				・がん化学療法チーム医療研修会 12チーム、関係者含め75名参加（すべてWeb参加） ・研修教育部会セミナー（会場22名、Web38名） ・放射線セミナー（会場65名、Web 176名） ・検査セミナー（会場37名、Web72名） ・薬剤セミナー * R3.2.12～2.22オンデマンド配信に変更（視聴回数137回）		
			○ 県民フォーラムなどの開催 第10回ひょうご県民がんフォーラム 日 時：令和 2年10月24日（土） テーマ：「ここまで来た最新の肺がん治療 ～ロボット手術と免疫複合治療～」 担当施設：関西労災病院				県民へのがん治療への理解を深めるため開催した。 ただし、新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、参加者の会場参集を取りやめYoutubeによるライブ配信とした。 (視聴回数 423回)		
			○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載)	令和3年3月	○	達成	地域で開催されるセミナーや研究会などの共催及び後援などを行った。 共催 3件、後援 2件	継続	主催者と連携を図り、引き続き共催、後援を行う。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

《令和 3年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

令和 3年 6月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象に、「がん看護コアナース育成セミナー」を例年より縮小して企画開催する (令和3年9～10月頃 開催予定 募集人数:20名 開催方法:ZoomによるWeb開催)	令和4年3月					
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第7回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 場 所： 兵庫県立がんセンター 大会議室 日程、テーマ、開催方法は未定 ○ セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和 3年10月 9日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:がんゲノム医療の新展開 (2) 放射線セミナー 令和 3年10月30日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:肺がんの診断と治療-update- (3) 検査セミナー 令和 3年12月 4日 兵庫県民会館「パルテホール」 (4) 薬剤師セミナー 令和 4年 1月15日 兵庫県民会館「けんみんホール」	令和4年3月					
			○ 県民フォーラムなどの開催 第11回 ひょうご県民がんフォーラム 日 時：令和 3年10月23日 (土) 場 所：兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ：「小児とAYA世代のがん」(仮) 開催方法：未定 担当施設：兵庫県立こども病院	令和3年10月					
			○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載)	令和4年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
令和2年度の活動報告	1 活動報告 1)がん相談実務者ミーティングを年4回開催する 第9回会議 令和2年7月16日(木) 13:00～15:30 WEB会議 【内容】「相談支援の現状と困っていること」、9月の研修会(WEB開催)に向けた練習と課題、検討 53名受講 第10回会議 令和2年9月12日(土)10:00～15:30 WEB開催 【内容】単位研修「相談対応の質保証(QA:Quality Assurance)を学ぶ」 50名受講 第11回会議 令和2年12月19日(土)13:00～15:30 WEB会議 【内容】「コロナ下でのサロン運営を含めたピアサポート活動支援について」 46名受講 第12回会議 令和 3年3月13日(土)13:00～15:30 WEB会議 【内容】各施設の質改善活動の評価 51名受講 2)事務局会議の開催 第27回事務局会議 令和2年7月16日(木)15:45～16:45 WEB会議 【内容】今年度の研修企画の確認、事務局会議の運営について 第28回事務局会議 令和2年9月12日(土)15:45～17:20 WEB会議 【内容】事務局会議の運営について、後期の事業確認、情報一元化について 第29回事務局会議 令和2年11月13日(金)15:00～16:00 WEB会議 【内容】事務局会議の運営、指導者研修、PDCA中間評価について 第30回事務局会議 令和2年12月19日(土)15:45～17:15 WEB会議 【内容】情報・連携部会と事務局の組織新体制について 第31回事務局会議 令和3年2月15日(月)15:30～17:00 WEB会議 【内容】情報・連携部会と事務局の組織新体制の整備、令和2年度の事業評価と令和3年度の事業計画について 第32回事務局会議 令和3年3月13日(土)15:45～17:00 WEB会議 【内容】令和3年度の事業計画について
令和3年度の活動計画及び今後の検討課題等	1 活動計画 * 部会・事務局会議共にWEB開催 1)部会(がん相談実務者ミーティング)を年4回開催する 【第13回】①令和3年6月15日(火)13:00～15:30 【内容】 就労支援「離職防止(特に拠点病院受診前)に向けた取り組みについて」 ～専門家との情報交換、グループワークを通して離職防止の取り組みを考える～ 今年度の予定 【日程】 ②9月18日(土)、③12月11日(土)、④3月12日(土)を予定 【内容】 ②部会内で開催する認定がん専門相談員単位認定研修は「ゲノム医療のがん相談QA評価」(仮)を予定 ③ピアサポーター関連を予定 ④各施設の質改善活動の評価を予定 2)事務局会議の開催 【第33回】2021年6月15日(火)15:45～17:00 【内容】 1. 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会の運営について 2. 第14回情報・連携部会会議(相談員研修)について 今年度の予定 【日程】 ②9月18日(土)、③12月11日(土)、④3月12日(土)を予定 【内容】 1. 情報・連携部会会議における課題の確認、明確化 2. 情報連携部会会議の年間計画立案、議案の最終決定 3. 情報連携部会各小集団間の活動進捗、課題検討、連携調整 4. 情報連携部会会議の運営について必要な事項 5. その他

《2020年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

21年3月年度末評価

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善
						区分	実 施 内 容	区分 今後の改善内容(計画)
情 報 連 携 部 会	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	各病院における相談支援部門の活動の自己評価、目標管理が定期的に実施されていない。	1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う ①2020年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト(20190301兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会作成)でチェックし、問題点を明らかにする。 ②上記は毎年3月に定期的に行うこととする 2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う ①目標管理の書式に則り、2020年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる ②年4回開催する情報・連携部会会議の際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる 3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る ①情報・連携部会会議を年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う ・第9回部会会議 2020年7月16日(木)場所: ZOOM会議 内容: 新規相談員顔合わせ、相談の現状と困っていること等 ・第10回部会会議 2020年9月12日(土)場所: ZOOM会議または兵庫県立がんセンター大会議室、内容: 単位研修「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」 ・第11回部会会議 2020年12月19日(土)場所: ZOOMまたは兵庫県立がんセンター内容: ピアサポーターとの交流会 ・第12回部会会議 2021年3月13日(土)場所: ZOOMまたは兵庫県立がんセンター内容: 各施設の質改善活動の評価 4) 兵庫県内のがん相談支援センター間の円滑な連携調整を行う ①「相談支援一元化情報」を作成し、がん診療連携協議会ホームページに掲載する ②情報・連携部会と事務局の組織の体制を見直し、効果的な運営を図る ③部会長所属病院の役割を整理し、移行先を検討する ④部会及び事務局会議の開催要領と、当番病院の運営要領を見直し改訂する	2021年3月	△	継続	1) ①2019年度3月部会が新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、2019年度のPDCAサイクルを用いた活動評価と2020年度の計画共有は、メーリングリストで各施設共有を行った。2020年7月の部会で新兵庫県版PDCA実施状況チェックリストに切り替えることを各施設に周知し、各施設は新しいチェックリストで問題点や課題を明らかにして、PDCAサイクル実施計画も見直した。 ②2020年度の年度末評価は、2021年3月部会に行う。 2) ①各病院で目標管理の書式に基づいて立案した。 ②2020年度は、WEB会議に切り替えたため、会議の中で毎回15分の目標の進捗管理の時間を確保することができなかった。 3) 情報・連携部会会議を年4回開催した。 ①・2020年度第9回会議 2020年7月16日(木)WEB会議 内容: 「相談支援の現状と困っていること」 9月の研修会(WEB開催)に向けた練習と課題、検討 ・2020年度第10回会議 2020年9月12日(土)WEB開催 内容: 単位研修「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」 ・2020年度第11回会議 2020年12月19日(土)WEB会議 内容: 「コロナ下でのサロン運営を含めたピアサポート活動支援について」 ・2020年度第12回会議 2020年3月13日(土)WEB会議 内容: PDCA評価 4) ①兵庫県がん診療連携協議会のホームページにフォルダを作成して掲載することが決定し、「相談支援一元化情報」の運用については、事務局会議にて検討を行った。9月にメーリングリストで共有を行った。今年度掲載を開始した。 ②2020年度の情報・連携部会と事務局の運営は、当番病院が事務局メンバーを兼任する体制に切り替えた。また、2021年度以降は、PDCAの項目に沿った小集団①相談支援の質向上、活用の促進②部会G③就労支援の体制づくり④ピアサポーターの体制づくり⑤相談支援の質向上を推進する人材の育成に分かれて、各小集団3病院からリーダーを立てる体制を作った。 ③9月までの事務局会議にて、部会長所属病院の役割を整理し、移行先を検討した。情報・連携部会員メーリングリストの管理、情報・連携部会員への情報・連携部会開催案内と報告書のメール送信は、がん診療連携協議会事務局に移行できることが決まった。それ以外の検討途中に、新体制に変更することが決定したため、兵庫県立がんセンターや小集団に移行する業務については、今後も整理を続ける。 ④9月までの事務局会議では、要領の見直しを行ったが、新体制導入後は新たな要領を作成していく必要がある。次年度の課題とする。	別紙参照 (5グループの活動計画)
	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	社会保険労務士、産業保健センター、ハローワークとの協働が効果的に行えていない。	1) 兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとがん診療連携拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う 2) がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワーク、産業医との協働を図る 3) 離職を防ぐための患者への啓発資料を作成する	2021年3月	△	継続	1) 2) 3) 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見交換会を中止した。	
	がん患者のピアサポーターの体制づくり・継続を支援する	がん患者のピアサポートに取り組む人材が質・量ともに充足していない	1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する ①兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催する ②ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的として、フォローアップ研修会を実施する ③国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける ④研修を修了したピアサポーターが充実した活動を行えるよう支援する	2021年3月	△	継続	1) ①兵庫県主催のピアサポーター養成研修が中止のためフォローアップ研修も中止となった。 ②～④の活動を継続できるようにするために、第11回情報・連携部会にて「コロナ下でのサロン運営を含めたピアサポート活動支援について」検討を行った。	
	県内のがん相談支援の質向上を推進する人材を育成する	兵庫県内の国指定の拠点病院で認定がん専門相談員が充足していない	1) 情報・連携部会会議で、認定に必要な研修を年1回以上開催する 2) 各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行う 3) 国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する	2021年3月	△	継続	1) 第10回情報・連携部会会議 2020年9月12日「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」 Webでの開催を行い、研修修了者50名であった 2) 各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行った。 3) 国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する 2020年度は参加者はなかった。引継ぎ資料は、事務局会議にて作成を行った。	

(注) 実施管理・区分欄の記入について
 C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理						
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善			
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)		
情 報 連 携 部 会	①目標・情報管理Gの必須業務		①兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの活用 ②PDCA管理 ③情報一元化の運用 ④兵庫県がん診療連携協議会事務局との連携 ⑤事務局会議の運営								
	①目標管理や情報一元化の活用の促進に努め、相談支援体制の機能強化や情報の共有化を図る ②事務局会議の効率的な運営を図り、兵庫県内のがん相談支援センター間の円滑な連携調整、情報・連携部会会議における課題の確認・明確化を行う	1. PDCAチェックリストの活用や、各病院における相談支援部門の活動の自己評価、目標管理が定期的に実施されていない	○目標管理の取りまとめ								
			1)各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う								
			①(2021年3月)「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を、実務者MLにて全病院に配信、評価結果を目標管理に活かすよう伝達し、各病院はチェックリストを用いて問題点を明らかにする	2021年3月							
			②(4月末まで)各病院は、「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を目標・情報管理Gリーダーまで提出を行う。	2021年4月							
			③(5～7月)全病院から評価結果を回収し、集計をGメンバー内で行い、兵庫県がん診療連携協議会ホームページに兵庫県で一括したデータをWEB公開する	5～7月							
			④(11月)次年度に向けた「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト(20190301兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会作成)」を、実務者MLにて全病院に配信、評価結果を目標管理に活かすよう伝達する	11月							
			⑤(12月)各病院は、「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を用いて問題点を明らかにし、チェックリストは目標・情報管理Gリーダーまで提出を行う	12月							
			⑥(2022年1月)①目標・情報管理Gメンバーにて、各病院から集まったチェックリストを集計する	2022年1月							
			⑦(2月)集計した結果、兵庫県全体としての課題を抽出し、次年度情報・連携部会として取り組むべき課題について、2月臨時事務局会議にて検討を行う	2月							
			⑧(3月)チェックリスト評価結果・部会のPDCA評価表・各病院のPDCA評価表を兵庫県がん診療連携協議会ホームページにWEB公開する(各病院のPDCAをWeb公開するかは9月事務局会議で検討)	3月							
			2)各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う								
			①各病院は、1)の結果を参考にして、目標管理の書式に則り、2021年度の医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる								
			②各病院は、年4回開催する情報・連携部会会議の時期に、目標の進捗状況を確認する								
			③(3月)年度末の情報・連携部会にて、PDCA評価の共有を行う(情報・連携部会運営G)	3月							
			3)兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会のPDCA評価表の取りまとめを行う								
			①立案:2021年度活動計画は、2021年1月に各グループ間で話し合いを行い、2月臨時事務局会議で発表、意見交換し承認を確認し、3月情報・連携部会にて共有								
			②(9月)中間評価を行う	9月							
			③(1月～3月)年度末評価と次年度計画立案:2022年1月中に各グループ間で評価・立案を行い、2月中に事務局メンバーで意見交換し承認を得て、3月情報・連携部会で全体共有する	1～3月							
			2相談支援に係る情報の整備が実施されていない。		○「相談支援一元化情報」の取りまとめ						
					1)2020年度より兵庫県がん診療連携協議会のホームページにフォルダを作成して掲載しており、年1度の更新を行う(協議会事務局担当者へデータを送り更新を依頼する)						
					①(9月)事務局会議にて、様式の改訂について検討を行う。改訂が必要であれば、改訂を行う	9月					
					②(2022年1月～2月)実務者MLにて情報の更新を依頼する	1月～2月					
					③(3月)情報を取りまとめホームページに掲載する	3月					
			3. 県下の相談支援部門の活動が情報公開されていない。		○兵庫県がん診療連携協議会事務局との連携						
	1)2020年年度末に業務の移行を行う										
	①兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会メーリングリストの管理 ②兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議の開催案内と開催後の議事録を兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会メーリングリストに転送し部会員に伝達	2020年3月									
	2)兵庫県がん診療連携協議会のホームページの掲載 ①PDCA関連資料の掲載を依頼する ②相談支援一元化情報の更新を依頼する	2021年3月									
			3)年度末開催の兵庫県がん診療連携協議会 幹事会へ、活動報告と活動計画、資料の提出 ①協議会事務局より12月頃に部会長と①目標・情報管理Gのリーダー病院宛てに、幹事会開催案内のメールが届く ①「①目標・情報管理G」は、添付された活動報告の資料に、今年度の活動内容や次年度の活動計画を記載し、部会と事務局会議の議事録を添付資料として事務局へ提出する	12月							
	4. 事務局の効果的な運用が実施されていない。		○事務局会議の運営								
			1)会議は、必要に応じて随時開催することとする。2021年度は、情報・連携部会開催後に年4回定期開催を行う予定とする								
			①会議は、がん診療連携協議会情報・連携部会長が招集する 必要に応じて、情報・連携部会部会員ならびに兵庫県疾病対策課担当者から、情報・連携部会長に対して、事務局会議開催を要望する。①目標・情報管理Gのメンバー病院も会議に参加する								
			②(4月)事務局会議開催にかかる公文書は、定期開催分は年度始めにひな型を用いて作成し、事務局メンバーへ送る 臨時開催分は適宜事前に作成する。定期開催分のZoomの手続きは、「②情報連携部会運営G」に事務局会議終了時間18時までを予約してもらう								
			③議事予定・会議資料の作成、開催の案内、Web会議の準備・司会進行を行う								
			④会議での協議内容は、議事録に書き留める 議事録は持ち回り制とし、年度始めに当番表を作成する 書記担当者は、実務者MLにて全体に伝達する								
			⑤事務局会議の資料と情報・連携部会会議資料は、各病院は実務者メーリングリストで受けとり各自保管しておく ①目標・情報管理Gは、共有フォルダorUSBに保管する。(管理の最終責任を①Gが担う)								
			⑥年度末までに次年度の引継ぎとして、①目標・情報管理Gのマニュアルを作成する。	～3月							

部 会 名	P				実 施 計 画				実 施 管 理			
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善				
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)			
情 報 連 携 部 会	②情報・連携部会運営Gの必須業務		①6月、12月、3月の情報連携部会の開催 部会の企画～準備～実施～報告のすべて ②その他、部会運営に関すること									
	がん相談支援セン ターのPDCA実施結果 をふまえ、課題の確 認、明確化を行い、ま た国の政策や動向を 見据えた課題につい ても取組みが進めら れるよう、情報連携部 会を企画・運営する	1. 2020年度PDCAサイクルよ り、継続して取り組む課題(就労 支援、ピアサポート、相談員の 質向上・指導者の人材育成)が ある	○課題への取組み	3月								
			1) 課題が達成されるよう、各グループと協働して実務者の会議を年4回開催する 開催時期は6月:就労支援、12月:ピアサポート、3月:まとめ									
			①会議の内容は、各グループの方向性を踏襲したものとし、各グループと連携して内容を決定する 各グループに目標達成のために必要な研修内容を確認し、部会の構成を組み立てる									
			②ミーティングスケジュール、講師依頼、会議案内、公文書の作成・発行、当日の司会、議事録作成、部会員への周知を行う									
			③9月の研修については⑤グループと連携し、ミーティングスケジュール、会議案内、公文書の作成・発行、議事録作成、部会員への周知を行う									
			2) 次年度以降の会議開催がスムーズに行われるよう、事務手続き等の詳細については要領を基に会議開催マニュアルを作成する									
	2. COVID19の影響により集合 形式の会議ができない	○会議の持ち方	1) 集合形式ではなく、オンライン(ZOOM)形式の会議を開催する ①どの施設がホスト(主催者)になっても会議が行えるよう、ZOOM会議の手順マニュアルを作成する	3月								
	3. 年度途中に国の政策などに より新たな課題が出てくる可能 性がある	○国の動向について	1) 都道府県拠点病院である県立がんセンターと情報共有を行い、課題が生じれば必要に応じて会議の内容を変更・再検討する									
③就労支援推進Gの必須業務		①就労支援にかかる関係者と連携ネットワークを構築し、県下で就労支援が拡充するよう情報共有や課題の確認、改善に取り組む ②離職防止の兵庫県統一資材の開発 ③その他、兵庫県の就労支援の促進に関すること										
がん患者の就労支援 を行うための継続的 な支援体制を作る	1. 就労支援にかかる関係者と の連携が図れていない。	1) 就労支援にかかる関係者と連携ネットワークを構築し、県下で就労支援が拡充するよう情報共有や課題の確認、改善に取り組む	3月									
		①社会保険労務士、産業保健センター、相談員でのネットワーク構築を目的として、オンライン会議を年に1回開催企画(開催時期については小集団②(情報・連携部会運営G)と協議。										
		②オンライン会議にて、がん相談支援センターでの就労支援において情報共有を行う。就労相談の事例を取り上げ、課題の確認、改善に取り組										
		2) 離職予防のための啓蒙施策 が不十分である。		2) 離職予防のための啓蒙資材の作成 ①離職予防の資材開発における課題の整理(予算、病院での使用方法、内容の検討) ②離職予防啓蒙方法の検討(資材開発以外で非接触型のもの)								
④ピアサポート活動の推進Gの必須業務		①兵庫県ピアサポート養成講座 ②兵庫県ピアサポーターフォローアップ研修 ③その他、ピアサポートに関する人材育成、活用、活動促進に関すること										
がん患者のピアサ ポーターの体制づく り・継続教育を支援 する	1. がん患者のピアサポートに取り 組むピアサポーター(人材)が 質・量ともに充足していない	○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを人材育成する	2022年3月									
		1) がんサポートグループ企画・運営者のための研修会に参加し、他県のがんサポートグループの企画・運営スキルを学び、ピアサポート活動に生かすための知識を得る(目標達成期日2021年4月)										
		①リーダー・サブリーダー施設メンバーが参加し、グループメンバーに情報還元する										
		2) 「ピアサポーター養成講座開催・ファシリテーターマニュアル」を、2019年度開催実施計画を基に作成する(目標達成期日2021年6月)										
		①兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課と相談し研修日の決定を行う										
		②開催3ヶ月前に開催マニュアルを完成する(目標達成期日2021年6月)										
		③兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課とマニュアル内容の確認後、情報・連携部会事務局へ提示しブラッシュアップを行う										
		④2022年度兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催(共催:姫路赤十字病院)し、準備・実施・評価を行う										
		⑤実施後の課題を基にマニュアルを修正する										
		3) 「ピアサポーター養成講座修了者の継続教育開催・ファシリテーターマニュアル」を、2019年度開催実施計画を基に作成する(目標達成期日2021年9月)										
		①開催3ヶ月前に開催マニュアルを完成する(目標達成期日2021年9月)										
		②情報・連携部会事務局・兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課とマニュアル内容の確認後、提示しブラッシュアップを行う										
③2020年度ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的としたフォローアップ研修会(応用研修)を開催(主催:姫路赤十字病院)し準備・実施・評価を行う												
④実施後の課題を基にマニュアルを修正する												
4) 小集団②情報・連携部会運営グループと連携しながら、2021年度兵庫県情報連携部会の12月開催部会(ピアサポーターとの交流・連携が図る目的)を協働開催する												
2. ピアサポーターが充実した活動 を行えるよう、施設内の受け 入れ体制が不十分である	○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを受け入れるための病院の体制準備を行う	1) 2020年度第11回情報・連携部会「コロナ下でのサロン運営を含めたピアサポート活動支援について」検討内容を参考に、オンラインサロン開催のサロン運営を導入している施設を5施設設ける(目標達成期日2022年1月)	2022年4月									
		①2021年12月情報・連携部会で実施状況を確認する										
		②オンラインサロンの開催を推進するにあたり、各病院で共通事項(事前の病院根回し・交渉、参加者への周知方法等)をとりまとめ、オンライン開催にあたっての規則・基準や開催手順・マニュアルを作成する										
		③情報・連携部会事務局へ提示しブラッシュアップを行う										
		2) 国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3施設設ける(目標達成期日2022年3月)										
		3) 施設内でがん相談支援センターと連携してピアサポートを行っている先駆的な好事例を紹介する(目標達成期日2022年3月)										

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
情 報 連 携 部 会	⑤質向上を推進する人材育成Gの 必須業務		①相談員研修の開催、実施 ②認定がん専門相談員の育成 ③がん相談指導者研修への受講生の派遣 ④県内の相談員の資格取得と研修修了状況の把握 ⑤その他、質向上を推進する人材育成に関すること						
	県内のがん相談支援 の質向上を推進する 人材を継続的かつ計 画的に育成する	1. 県内の相談員の研修終了状 況が把握できていないため研修 参加や認定申請への働きかけ が行いにくい	1) (2月) 県下の相談員の資格および研修修了状況を把握する (相談員情報の管理は、都道府県がん診療連携拠点病院が行う)	2月					
			2) 資格取得及び研修修了状況を確認するシートを作成し、情報連携部会MLと相談支援実務者MLにメールする。シートの目的、情報提供のお願い、今後の予定、人材育成の計画を検討いただくことを伝える(～3月)	3月					
			<研修参加への働きかけ> 3) 国立がん研究センターがん情報サービスのHPIに、「指導者研修」「国立がん研究センター認定がん専門相談員」の募集要項が発表されたら、上記の2つのMLにメールで知らせ(募集要項を添付するまたはURLを添えてメールする)、指導者研修参加希望施設を募る。 ①指導者研修に参加希望施設は、情報連携部会で後日確認し、調整することを伝える(3月中旬) ②3施設以上の応募があれば、基準にそって優先順位をつける。部会長に確認をうけ推薦を得る ③調整結果を、上記2つのMLを通して、部会員と相談支援実務者にお知らせする	3月					
	2.兵庫県の国指定の拠点病 院で認定がん専門相談員が充 足していない		1) 9月の情報連携部会会議で相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修)を開催する						
			2022年度研修について						
			①(11月～12月)指導者研修修了者と連携して、担当者、役割分担、テーマ、講師など企画の検討を行い決定する	11～12月					
			②(12月)リーダーは事務局会議で研修会企画を報告し、部会の承認を得る	12月					
			③(～2月)講師を別で呼ぶ場合、協議会に予算申請の相談と講師打診	～2月					
			④(～5月)Ⅲ群登録申請に必要な内容を確定させる(研修名、研修日、開始終了時刻、場所、募集定員、解決課題、研修目的、学習目標、対象(職種と地域)、形式、講義内容、演習内容、内容分類、プログラム、評価方法、研修企画者、研修企画者の指導者研修受講歴、講師名、研修の位置づけ、など)	～5月					
			⑤(6月)開催案内、次第、申し込み用紙、アンケートを作成、Ⅲ群登録申請内容と合わせて県立がんセンターに送る。 県立がんセンターは研修に関する資料をまとめて院内決裁をとる。 決裁終了後、国立がんセンターにⅢ群登録申請登録を行う。	6月					
			⑥(～6月)事務局会議で、相談員研修準備の進捗を報告する	～6月					
			⑦(7月初旬)研修案内・研修参加者の募集を行う	7月初旬					
			⑧(8月初旬)参加者一覧表の作成・研修レジメ発送	8月初旬					
			⑨(8月、9月)ZOOMで行う場合、ファシリテータと打ち合わせ	8～9月					
			⑩研修の運営:研修の進行方法の検討、当日の司会進行・WEBホスト:小集団5Gと指導者研修受講者(研修修了者)が連携して行う						
			⑪アンケート作成・集計:指導者研修受講者(研修修了者)						
			(研修修了後) ・1週間以内:研修報告書(案)作成→参加者にMLで送信(内容確認・追加修正)→報告書作成→報告 ・(●までに)既定の報告書に沿って、国立がんセンターへweb報告 ・1か月以内:県立がんセンター内報告書提出 ・がんセンター押印のうえ、修了書郵送						
			2021年度 活動計画承認後、県立がんセンター・指導者研修受講修了者(研修企画者)・小集団5Gが連携し企画の検討・計画を決定し、6月までに事務局に報告・承認を得て、情報連携部会に提案・承認を得る。6月以降の活動計画は上記同様	～6月					
			2) (6月・9月情報連携部会)部会からの事務連絡で、国指定拠点病院へ、国立がんセンター認定がん専門相談員の申請を積極的に行うようにお知らせする 認定申請目標:国拠点病院は1名以上／病院(長期目標)	6月、9月					
			3) 認定がん専門相談員が自施設で相談対応評価表を用いて相談対応評価をおこなっているかの確認を行う。						
	3.県内の相談支援の質向上を 推進する人材(指導者研修終了 者等)が少ない		1) 計画的に指導者研修に受講生を派遣するため、1. の情報を活用する						
			2) 研修参加施設募集・調整について 国立がん研究センターがん情報サービスのHPIに、「指導者研修」の募集要項が発表されたら、上記の2つのMLにメールで知らせ(募集要項を添付するまたはURLを添えてメールする)、指導者研修参加希望施設を募る。 ①指導者研修に参加希望施設については、後日 情報連携部会で調整することを伝える(3月中旬) ②3施設以上の応募があれば、基準にそって優先順位をつける ③部会長に確認をうけ推薦を得る ④調整結果を、上記2つのMLを通して、部会員と相談支援実務者にお知らせする * どの施設からも手上げがない場合、1の情報をもとに、参加可能な状況かどうか、実務者にインフォーマルに声を掛ける * 目標:3名／組 1組／年 * 指導者研修修了者が新規研修参加者に情報の申し送り、サポートが行えるよう整える						
			3) 指導者研修修了者、認定がん専門相談員の活用						
			①部会での意見交換が活発に行えるようにファシリテーターの役割を担っていただく						
			②ファシリテーターは当日の役割分担として担っていただく。事前に打ち合わせを行い不安な力を発揮いただけるようにする						
	4. 情報連携部会として、県内の 相談支援の質向上を推進する 人材を育成するために行う各種 の取り組みを継続できるような 経験の蓄積が不足している		1) 小集団の事業継続性を高めるため、マニュアルを整備する	～6月					
			①(6月まで)マニュアル(案)作成 ②研修の運営、研修受講への働きかけ、ファシリテーターへの説明を行いながら1年を掛けて修正を行い、年度末に完成させる	3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

第 12 回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議 議事録

日 時：2021 年 3 月 13 日（土）13:00～15：30

場 所：Web 会議（Zoom）

参加者：別紙参照

内 容：2020 年度 PDCA サイクルの評価について

1. PDCA サイクルの評価について各病院より報告

<神戸大学医学部附属病院>

①相談支援の体制について②就労支援③がん患者の家族向けの勉強会③ピアサポート活動がん患者サロンについて、今年後は 4 つの目標、計画を立て取り組んだ。

相談支援体制について、週 1 回相談員同士でケースカンファレンス、月 1 回総合相談部門のミーティングで共有を行い、3 か月に一回電話相談のモニタリング評価を行った。相談に来られた利用者アンケートは満足度が 98%以上の高い評価を得られた。今後も利用者を増やすことを目標にしたい。相談件数は年間 900 件を目標にして 3 月末で 1,000 件前後になる見込み。広報活動では、今までは外来や病棟にラックを設置してがん情報の冊子や相談室のチラシを配布していたが、それらを撤去し各種のパンフレット情報を電子媒体で確認してもらえるようにした。相談室内の情報提供用の資料整理やアピアランスのグッズの整理を行った。国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして基準をみたす活動はできた。

就労支援は社労士との共同面談を実施した。相談内容は障害年金に関する相談が一番多かった。社労士の満足度は、すべてのアンケートで 100%であった。離職防止の支援は、初診時からの広報は次年度も継続課題として取り組んでいきたい。

がん患者の家族向けの勉強会は、対面開催ができなかったため、DVD の収録に切り替えて、がん相談室で DVD を希望者に貸し出すようにした。年間 58 件の貸し出しを実施した。次年度は、Zoom 版オンラインの体制に切り替える予定。

がん患者サロンは、Zoom 開催に今年度から切り替えることができた。インターネットに不慣れな方には個別にサポートして参加できるようにし、満足度も高い結果となった。

今年度は活動中止することなく色々な方法で行うことができてよかった。

<神戸市立医療センター中央市民病院>

①がん相談支援センターの活用に関すること②就労支援に関すること③ピアサポートに関すること、3 つの課題を上げ取り組んだ。

去年 4 月にクラスターが発生し入院患者、外来患者を抑制した関係があつて患者との接し方に非常に敏感になっていたため、相談支援は患者が継続して利用できること、対面面談を中止せずに行えることを目標に上げて取り組んだ。対面面談は減っている状況であるが、件数としては昨年度の 6～7 割程度、病床利用率、外来患者が共に 3 割に減少した傾向にあつたため、患者数、相談件数が減ってきていたが、その中でも対面面談は中止することなく環境整備を行った。面談で匿名を守ることが大事であるが、健康被害があつた場合、患者に迷惑がかかってはいけないので、来院された方にはすべて連絡先、名前を確認するようにして事情を説明すれば継続できた。

就労支援は、患者数の減少とともに件数が減り、社労士、ハローワークの相談会は昨年度と比べると約半数程度になっているが、社労士、ハローワークと協力して中断することなく相談会に来てもらい対面面談を行えた。件数が減ってきている要因として院内スタッフからの紹介が減少しているので広報が足りなかったと考えているので強化していきたい。

ピアサポートについて、がんサロンは中止し、オンラインでのがんサロンは実施できていない。来年度はオンラインでの実施、患者にアンケートを取りオンラインでも参加したいかどうか需要を確認しながら取り組みたい。

<神戸市立西神戸医療センター>

①相談支援センターにアクセスできること②相談対応の向上③就労支援④ピアサポートについて取り組んだ。

相談支援センターにアクセスできることについて、ポスター、チラシ配布は継続して行っているが、コロナ感染防止のため職員へのがん相談支援センターの役割や業務の説明を行えず、看護部主任会、研修医にしか説明ができなかったため、院内広報誌で紹介を行った。前年より周知活動が減り、対面面談も中止しているので、院内からの紹介数や、相談支援センターの認知度が低下しているように思う。病棟患者でパンフレットを使用して説明が必要な場合は、病棟に行き説明を行い、どうしても対面面談を希望した場合は、相談室は密になるのでオープンスペースの場所で行った。

就労支援について、相談員と社労士による就労支援を行っていることをアピールし、ポスター掲示した。対面面談が中止になった時点で、社労士との面談も中止になった。

相談対応の向上について、相談対応のモニタリング、事例検討、ロールプレイを行っている。相談対応の評価について、部会の研修に参加することによってファシリテーターとして能力が向上した。

ピアサポートについて、対面面談が禁止になったので活動は中止になった。オンラインでの開催は検討しておらず、講義形式で行いたいと考えている。

※上記、3 病院の発表後に Zoom トラブルが発生したため他病院の発表は中止となった。

2. 事務連絡【兵庫県立がんセンター伊藤看護師長からの事前資料を参照】

今年度は、4つの柱で部会の活動を行った。各病院の相談員の能力維持向上について、4回の部会は予定通り行えた。協議会のホームページに相談支援のフォルダーを作成してもらい、相談支援に関する各病院の情報を今年の3月に掲載できた。事務局会議の運営は4病院と、部会活動の担当病院がしていたが、情報連携部会が担う仕事が増えてきたので、体制の見直しを図った。次年度は、PDCA シートの課題に合わせて5つのワーキンググループを立ち上げた。国拠点が力を合わせて活動を展開していく。

就労に関する合同会議は、コロナの関係で開催は見送った。ハローワークから次年度は開催してほしいと要望あり。ピアサポーターの養成研修は中止となった。

【次年度の各グループ小集団について】（別紙 2021 年度 PDCA サイクル実施計画・管理表参照）

① 目標、情報管理グループについて

PDCA チックリストについては、各病院でチェックしてもらった結果の取りまとめを行って兵庫県としてのデータを情報公開できればと考えている。部会の PDCA の取りまとめも行う。情報一元化については、2020 年度から作成に取り掛かったので、年 1 回 3 月頃に更新できるようにしたい。事務局会議の運営も行っていく。

② 情報連携部会運営グループ

年 3 回の情報連携部会の開催、部会の企画、準備、実施、報告を行う。各グループで取り組んでいる内容、方向性を確認して部会を運営していく。部会の運営方法は、オンラインでの会議を開催し、どこの病院がホストになっても運営が行えるよう Zoom の手順マニュアルを作成したい。年内に国から新しい取り組みや方法性が変わってきた場合はその都度内容を検討し場合によっては部会の内容を変更したい。

③ 就労支援推進グループ

就労支援にかかる関係者と連携ネットワークを構築し、就労支援が拡充するよう情報共有や課題確認、改善に取り組む。社会保険労務士、産業保険センター、相談員でのネットワーク構築を目的としてオンライン開催を行う。オンライン会議で、がん相談支援センターでの就労支援について情報共有を行い、就労相談の事例を上げて、課題の確認、改善に取り組む。離職予防のための啓発資料の作成、資料開発における課題の整理、離職予防啓発方法の検討を行う。

④ ピアサポート活動の推進グループ

昨年度はピアサポーター養成講座、フォローアップ研修が開催できなかったもので、オンラインでの開催を計画している。ピアサポーターを受け入れる病院の準備を行い、コロナ禍でもピアサポート支援について導入する病院を増やしていくことに取り組んできたい。養成講座のマニュアルを作成して実施できよう体制を整えていくことを計画している。

⑤ 相談支援の質向上を推進する人材育成グループ

指導者研修受講や認定がん専門相談員の申請の働きかけを行うため、県下の相談員の資格および研修終了状況の確認を行う。来年度については 2 月に確認した。指導者研修は県内で 6 名しかいないので各病院の方針を確認し申し込みを検討してほしい。認定がん専門相談員は県内で 12 名いるので、研修会などのファシリテーターとして協力をお願いしたい。認定がん専門相談員単位認定研修は 9 月に部会の研修と実施予定。相談支援の質向上を推進する人材を育成するため、マニュアルを作成予定。指導者研修の募集があり、Web での研修になり前期が 6/29、6/30、後期が 11/4、11/5 の予定。

申し込み期間が 4/5～4/8 までとなっているので、病院の方針を確認して申し込みをしてほしい。詳細については ML にて各施設へお知らせする。

【国拠点間のメールアドレスの共有について】

- ・小集団グループだけではなく、グループで連携するところもあるため、所属する相談員のメールアドレスを全員で共有したい
- ・メールアドレスは個人情報になるため、共有するアドレスの管理は各自責任をもって行う

【メール件名の取り決めについて】

- ・件名の文頭は発信元【小集団グループ名：〇〇】と表記
- ・〇〇については用件などメールの内容、重要性が一目でわかるように書く

【情報一元化の進捗について】

- ・兵庫県がん診療連携協議会のホームページに今週アップした
- ・エクセルはウイルス感染のリスクが強くなるため PDF でアップした

神戸市立医療センター中央市民病院橋本氏より

【来年度の情報連携部会の開催予定日】

- ・6/11（金） or 6/15（火）の平日開催。労働局等と調整して決定
- ・9/18（土）
- ・12/11（土）
- ・3/12（土）

神戸大学医学部附属病院酒井氏より

【PDCA 評価表について】

- ・配布資料に PDCA のサイクル、様式の書き方、PDCA のチェックリストなどを記載しているので確認して、自施設の目標管理に反映させてほしい

第 31 回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会事務局会議 議事録

日 時：2021 年 2 月 15 日（月）15:30～17:15

場 所：Web 会議（Zoom）

参加者：兵庫県疾病対策課(渡邊氏)

兵庫県立がんセンター（長田氏・伊藤氏）

神戸大学医学部附属病院（酒井氏・酒見氏）

関西労災病院（内村氏・平田氏）

神戸市立西神戸医療センター（稲山氏・友次氏）

赤穂市民病院（井上氏）

姫路医療センター（北山氏）

公立豊岡病院組合立豊岡病院（細見氏・後藤氏）

兵庫県立淡路医療センター（中野氏・原田氏）

近畿中央病院（林田氏・竹森氏）

神戸市立医療センター中央市民病院（橋本氏）

兵庫医科大学病院（西村氏）

欠席者：神戸大学医学部附属病院（木澤氏）、神戸市立医療センター中央市民病院（溝口氏）

議事内容

1. 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会の運営について

①次年度のグループ分け結果の報告【資料①】

- ・各グループの目的・役割・業務について、以前配布した資料からの変更点は、兵庫県(疾病対策課)の役割の追記と、各グループの活動目的の追記となっている。

②次年度活動計画 PDCA について【資料②】

- ・2 月 10 日締め切りで各グループが作成した活動計画を共有し、意見交換を行った。
- ・当会議開催にあたって木澤情報・連携部長からは、次年度は国から就労支援とピアサポート活動の支援が重点課題となるとの事前コメントがあった。就労支援については、初診時や入院時に全患者に離職防止や相談窓口の紹介を情報提供するなどの支援が求められる。ピアサポート活動の支援については、COVID-19 の影響は来年度にも及ぶと考えられるため、ピアサポーター養成研修はオンライン開催を計画するようコメントがあった。
- ・1グループおよび5グループについては、活動計画に加筆・修正の意見はなかった。
- ・2グループ(情報・連携部会運営グループ)
 - ・部会運営については、開催要領に基づき運営を行うが、部会開催の手続きやタイムスケジュール(幹事長への確認や部会員に開催案内を送る時期など)は、兵庫県立がんセンター伊藤さんよりリーダーの神戸市立医療センター中央市民病院橋本さんに情報提供を行う。
 - ・オンラインによる会議開催については現要領には記載がないが、兵庫県がん診療連携協議会の Zoom ミーティングの予約が込み合うため、部会会議や事務局会議、その他臨時のミーティングなど、日程が決まり次第、早めに連絡して会議予約を行う。
- ・2 グループは部会開催が主な業務内容だが、部会会議のテーマには、就労支援やピアサポート活動支援など、3 グループや4グループが主となって活動する議題も含まれる。3 グループおよび4グループからは、各グループの目的を達成するためのテーマや議題の抽出、研修等の内容の検討を行い、2グループは、各グループと連携を取りながら協働して部会を運営する。

- ・部会の日程は2グループで決定する。事務局メンバーで日程を調整し、2 月中に確定して3月の部会で年間スケジュールを案内する。
- ・3グループ(就労支援推進グループ)
 - ・就労支援に関わる関係者とのネットワーク構築のためのオンライン会議の開催や、就労支援に関する情報収集を行う。
 - ・離職防止のための共通資料を作成する。
 - ・部会開催との関連は、2グループへの議題の3項目参照。
- ・4グループ(ピアサポート活動の推進グループ)
 - ・ピアサポーターの養成研修およびフォローアップ研修の運営段階から、2グループとは連携を取りながら協働していきたい(例;研修開始の数か月前から連携し、がん相談実務者を通した広報活動や交流会の内容相談など)。
 - ・県の疾病対策課ともピアサポーター養成研修のオンライン開催について協議していく。
 - ・例年12月に行っているがん相談実務者とピアサポーターとの交流は、開催予定。
- ・今後の流れ
 - ・各グループで追加・修正を行い、2月24日(水)17時までに、神戸大学病院酒井さんまで提出する。体裁を整え、最終版は2月26日(金)に酒井さんから事務局メンバーに配信する。
 - ・3月の部会では、30分程度時間を確保されているため、各グループのリーダーから、次年度の活動について発表し、意見交換の時間を持つ。兵庫県立がんセンター伊藤さん、神戸大学病院酒井さんから、PDCAサイクルの書き方やPDCAの回し方に関する説明の時間をもつ。
 - ・年4回行う部会内容については、開催の1回前の部会開催日に行う事務局会議で最終確認が行えるように、グループ間で連絡を取り合い、準備を行う。

③新体制後の全体を俯瞰するための取り組み工夫について

- ・PDCA 計画ごとの評価表や年間スケジュール表などのツールを用いて、グループ活動の進捗状況のチェックを行い、各グループのリーダーは部会の時間に、部会全体に報告を行う。
- ・部会全体で Dropbox などの機能を利用してクラウド上に部会や事務局会議の資料、各グループの活動資料などを保存できる方法はないか、3月の部会で案を出せるよう検討する(【資料③】)。
- ・メールでの連絡や共有が多くなるため、件名を分かりやすく統一する方法を検討する。3月の部会で提示できるよう準備する。
- ・各グループで事業を進めるが、従来通り事前に事務局会議に活動案を掛け、意見交換と承認をえて活動を展開する。活動後も報告を行い、全員に部会の取り組みがみえるようにする。加えて、これまで部会会議や事務局会議担当病院は県立がんセンターと事前に打ち合わせを行い、情報や方向性、課題の共有を行っていた。次年度体制が大きく変わるため、すくなくとも1年間はそれを継続する。

2. その他必要な調整

- ・国拠点病院の連絡先共有について

部会担当の人が連絡をとりやすいように、年度始めに、部会長、副部会長、県庁、相談支援実務者、協議会事務局の連絡先(病院名、部署、氏名、電話番号、メールアドレス)をまとめて共有する。

2021年3月の部会開催までに、兵庫県立がんセンター伊藤さんより、がん相談実務者に向けて連絡先共有の趣旨を連絡する。各施設は、共有の是非を話し合い、業務上必要な連絡のやり取りを行う上で、開示してよい連絡先(メールアドレス)を決定して、3月の部会会議時に回答する。
- ・要領の見直しについて

現在の部会関連の要綱3つは、2021年度に部会要綱1つにまとめる。その他、グループごとに運用マニュアル

を作り、年度ごとに修正し、次に引き継いでいく。

3. 相談員の研修修了および資格の取得状況、次年度の指導者研修参加の候補者について【資料④】

・調査を行った結果、国拠点病院の相談実務者でがん対策情報センター「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)～(3)修了 67 名、そのうち指導者研修修了者6名だった。国立がん研究センター認定がん専門相談員の資格取得者は、国拠点病院 11 名、県拠点病院1名だった。指導者研修修了者が少ないため、5グループが中心となり、資格取得や養成を進めていく。

4. その他

・今年度より、PDCA サイクルの様式が変更となっている。3 月の部会開催病院である赤穂市民病院より情報・連携部会実務者メーリングリストにて 2 月 15 日に部会の案内が送られているが、旧版の PDCA サイクル評価表となっているため、新版の様式で提出いただくよう、再度案内いただく。

次回日程

2021 年3月 13 日(土) 情報・連携部会終了後

第 32 回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会事務局会議 議事録

日 時：2021 年 3 月 13 日（土）15:40～17:10

場 所：Web 会議（Zoom）

参加者：兵庫県疾病対策課(渡邊氏)

兵庫県立がんセンター（長田氏・伊藤氏）

神戸大学医学部附属病院（木澤氏・酒井氏・酒見氏）

関西労災病院（内村氏・平田氏）

神戸市立西神戸医療センター（稲山氏・友次氏・川原氏）

赤穂市民病院（井上氏）

姫路医療センター（北山氏・池渕氏）

公立豊岡病院組合立豊岡病院（後藤氏）

兵庫県立淡路医療センター（中野氏・原田氏）

近畿中央病院（林田氏・竹森氏）

神戸市立医療センター中央市民病院（橋本氏・溝口氏）

兵庫医科大学病院（西村氏）

欠席者：豊岡病院（細見氏）

議事内容

1. 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会の運営について

・共有フォルダ作成について【資料①】

共有フォルダを作るのは事務局内一致して、承認を得た。

Dropbox や Google ドライブなど、多くのユーザーがいるツールよりは、他の方法がいいのではないかと意見より、まずは神戸大学病院でツールの検討とアカウントの作成を行う。メールで進捗を報告する。

※複数の地方公共機関が使用している「box」推奨 (<https://account.box.com/signup/n/personal#7iupm>)

2. 次年度情報・連携部会の日程について

・2021 年度の部会日程

第1回;6/11(金)または15(火) 就労支援

第2回;9/18(土) 研修

第3回;12/11(土) ピアサポーターとの交流会

第4回;3/12(土) PDCA サイクル評価

3. その他

○小集団グループに参加する国拠点病院の相談員間のメールの共有方法について

・新年度に交代があったところは4月9日(金)朝9時までに、兵庫県がん診療連携協議会事務局小西さん宛に必要な事項を送る。

・集約したデータは、4月中を目途に、事務局メンバー宛にエクセルデータを兵庫県立がんセンター伊藤さんから送ってもらう。

○小集団グループに県指定の施設にも協力いただくことについて

・今後、国拠点病院の増加等がある可能性が高いため、まずはピアサポーター養成研修のファシリテーター等、各集団で人員の必要な取り組みへの協力依頼をおこなうことで、流動的に対応する。

○6月の部会(就労支援がテーマ)の内容について

- ・「離職防止(特に拠点病院受診前)に向けた取り組み」をテーマとする。
- ・ハローワーク、兵庫県社会保険労務士会、希望があれば産業保健総合支援センターに参加を声掛けする。
- ・コロナ禍でのがん患者に対する就労支援の実情について、参加いただく就労支援関連の各立場から2分程度発表してもらおう。その上で、「離職防止に向けた取り組み」について、ハローワークには離職の現状、社労士会には離職防止に向けた相談の実際、産保センターには離職防止に関する話題をそれぞれ提供いただく。
- ・ブレイクアウトルームを活用し、話し合う。
- ・決裁の関係から、開催2か月前(4月中旬)には開催案内、次第(プログラム、時間割、講師、謝金の有無等)、申込フォームなど、県立がんセンター伊藤氏まで送る。
- ・神戸市でもがん患者の両立支援について取り組みを検討されている。次回の部会に、希望があればオブザーバー参加の声掛けを行う。

○就労支援に関する取り組みについて

- ・木澤医師より情報提供として、がん対策推進会議で、今後特に就労支援に力を入れる話が出ていた。特に、拠点病院に紹介受診を受ける前に、実際は診療所等で診断を受けるため、それらとの離職防止に向けた取り組みを考えていけるとよいだろうと意見があった。
- ・今後、企業側の取り組みを知ることや、企業側との連携も重要となる。

※参考:藤沢タクシー株式会社の根岸茂登美氏

がん体験者で、保健師。中小企業経営者で、直接企業と行政、医療機関を結びつける取り組み(ロータリークラブへの働き掛け)を検討するなど就労支援に取り組んでおられる。

https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/partner/activity_180725_1.html

- ・今後、県の医師会と連携し、診断から精査、拠点病院への紹介までの間に離職しないための取り組みを検討してもよいのではないか。

※活動案:・1年間で、「精査する前の段階で、いかに離職防止の取り組みを行うか」を医師会に参加してもらってブレインストーミング。

・離職しないことを伝えること、紹介先の拠点病院に相談窓口があることの紹介、などを盛り込んだパンフレットを共同作成する。

・地域連携バスで連携しているクリニックや診療所等との連携

- ・他府県にはない新たな視点をもった取り組みができるとよいだろう(離職防止の視点も取り入れたがん教育(「お父さん、辞めないで」など))。

○異動等の情報

- ・姫路医療センター北山氏が退職となる。今後は、池渕氏が後任となる。

○本日開催の情報・連携部会でのZoom接続トラブルについて

- ・事前に共同ホストにできる設定であるかの確認を怠り、会議開始時に兵庫県立がんセンター伊藤氏を共同ホストにしようとしたが、ホストにする以外の選択肢がなかった。

→事前に設定を確認し、共同ホストを複数担当できるように依頼しておく。その上でミーティング開始時に共同ホストを振り分ける。

○次回の事務局会議について

- ・今回同様、部会終了後に事務局会議を行うため、会議予約は 18 時までで設定していただく。
- ・小集団1(目標・情報管理グループ)は、事務局会議運営のため、3 施設とも参加する。

次回日程

次回の兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会終了後

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
令和2年度の活動報告	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 ・ 中止 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・ 第1回院内がん登録実務者ミーティング - とき・ところ: 2月2日・Web開催 - テーマ: 2018年登録数と治療別集計 兵庫県で登録数が多い3大がん(大腸・肺・胃)の病期・治療法別2018年集計結果 実務者相談 - 参加者: 36病院 65名参加 - 集計結果は、「兵庫県がん診療連携協議会」HP内のがん登録情報として公表 ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 ・ とき・ところ: 6月16日・国立がん研究センター(Web会議) ・ 報告事項: 全国がん登録の動向、院内がん登録全国集計報告書について 等 ・ 検討事項: 施設のがん患者カバー率集計、院内がん登録生存率集計について * 全国がん登録実務者研修会の開催 ・ 中止
令和3年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 ・ 6月28日(月) 14:00～(WEB開催) ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・ 年2回開催予定(講義形式(11月)、院内がん登録数集計報告等(2月)を予定) ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 ・ 5月31日(月) 13:00～15:00(WEB開催) * 全国がん登録に関する研修会の開催(予定) ・ 開催時期、内容未定

《令和 2年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

令和3年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	令和3年3月	○	達成	がん診療連携協議会のホームページに、がん登録部会の院内がん登録実施施設の2018年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データを掲載した。 (この集計は、がん登録実務者ミーティングで検討を重ね、令和3年2月に開催された兵庫県がん診療連携協議会幹事会で公表を承認されたものである。)	継続	来年度もがん登録部会・実務者ミーティングで検討しながら2019年診断症例の情報収集に努め、兵庫県のがん診療や県民に役立つ情報提供を行っていく。
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	令和3年3月	△	概ね 達成	新型コロナウイルス感染症の拡大により、講義形式のがん登録実務者ミーティングの開催を中止した。	継続	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	各拠点病院等は、県への情報還元申請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、がん登録部会等で情報共有を図る。	令和3年3月	○	達成	第1回院内がん登録実務者ミーティング(統計・分析)2月2日WEB開催 テーマ①「2018年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データの公表案」の検討 テーマ②「実務者相談」/36病院65名県内実務者参加 令和3年3月末現在で、2病院が県へ情報還元申請済	継続	引き続き、各拠点病院等が県への全国がん登録情報の予後情報還元申請を円滑に行えるような支援を継続する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

《令和 3年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

令和3年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、 院内がん登録のデータを活用し、 登録数や各治療法についてのがん種別 件数をホームページ等で情報公開する よう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会 のホームページにおいて加盟病院別の 件数・割合を掲載しており、2015年症 例より、施設別の院内がん登録数及び 胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を 掲載しているが、より患者のニーズに 対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、 情報の取り扱いに配慮しながら、県がん 診療連携協議会がん登録部会及びその下 部組織であるがん登録実務者ミーティ ング等で検討を重ねいく。 検討結果について、加盟病院に了解を得 られたデータ等を協議会ホームページに 掲載する。	令和4年3月					
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関 する法律が施行され、院内がん登録実 務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(11月、2月)、がん登録実務者 ミーティングを開催(うち1回は講義形 式)し、がん登録に係る知識向上、情報 共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが 開催する初級者認定試験や初級者・中 級者研修や更新試験、データ集計・分 析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも 参加する。)	令和4年3月					
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	各拠点病院等は、県への情報還元申 請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申 請ができるよう、がん登録部会等で情 報共有を図る。	令和4年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
令和2年度の活動報告	○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和2年12月11日WEB開催) https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/p_care/shiryo8.html ○緩和ケア部会コアメンバー会議 (令和2年9月29日WEB開催) ○緩和ケア部会コアメンバー会議 (令和3年3月24日WEB開催) 池垣淳一、木澤義之、岡山幸子、西本哲郎、福永智栄、堀謙輔、坂下明大 (神戸大学)、濱中章洋 (淡路医療)、伊藤由美子 (がんセンター) ○Web退院前カンファレンス推進のための会議 (令和3年1月6日WEB開催) ○Web退院前カンファレンス推進のための会議 (令和3年3月23日WEB開催) 堀 (関西労災) 福永、井上、前田 (姫路日赤) 坂下 (神戸大学) 松本 (製鉄広畑) 坂下 (神戸大学) 西本 (神戸中央市民) 岡山 (宝塚) 伊藤、池垣 (がんセンター) ○緩和ケア研修会の開催 HP掲載 26研修会開催/予定 4施設で中止 ○緩和ケア研修会指導者の会 (令和3年1月23日Web開催) 30名 参加 ○緩和ケア研修会指導者の会 (令和3年3月12日Web開催) 25名 参加 コロナ禍の緩和ケア研修会開催について他 ○兵庫県緩和ケアチーム研修会 関西労災病院 担当 (令和3年1月23日Web開催) 「緩和ケアチームとは何か」 28施設 77名参加 うち国拠点15施設 ○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (令和3年3月7日Web開催30名) (テーマ: コミュニケーション 講師木澤義之)
令和3年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和3年12月10日 WEB開催予定) ○緩和ケア部会コアメンバー会議 2回開催予定 ○緩和ケア研修会の開催 4月HP掲載 ○緩和ケア部会・地域連携部会 合同セミナー (令和3年6月24日 WEB開催予定) (テーマ: Webによる退院前カンファレンスを始めるために) ○緩和ケア研修会指導者の会 (令和4年1月22日 開催予定) ○兵庫県緩和ケアチーム研修会 市立伊丹病院 担当 (令和4年1月22日 開催予定) ○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (未定) (テーマ: コミュニケーション 講師 木澤義之)

《 令和2年度 P D C A サ イ ク ル 実施計画・管理表 》

令和3年 3月 末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアの質の向上	新型コロナウイルスの影響で拠点病院の指定要件である緩和ケア研修会の開催が危ぶまれる	対面による研修会は行わない。 WEBによる集合研修を開発し、WEB開催可能な施設では行う。 指導者の会はWEB会議とする。	令和3年3月	△	概ね 達成	23施設が緩和ケア研修会開催予定したが、 中止は5施設 一部web開催は3施設 緩和ケア研修会指導者の会はWeb会議2回	継続	Web開催のノウハウを共有する。 Web開催のプログラムを検討する。
	緩和ケアチーム診療機能の向上	新型コロナウイルスの影響で緩和ケアチーム研修会の開催が危ぶまれる。 緩和ケアチームの評価指標がない。	対面による緩和ケアチーム研修会を可能なら開催。 その場において緩和ケアチームの評価方法について検討する。	令和3年3月	△	概ね 達成	緩和ケアチーム研修会にて緩和ケアチームの評価指標について意見交換した。	継続	来年度以降、実現可能な指標を用いた評価を行う。
	疼痛緩和等の実践	国拠点病院においては緩和ケアマニュアルを2年に1度改定することとなっている。一方マニュアルが十分に整備されていない病院もある。	他病院の緩和ケアマニュアルについての情報交換を行う。 開示してよい施設、知りたい施設間での情報交換を促す。	令和3年3	○	達成	緩和ケアチームメーリングリストで、マニュアル公開可能な施設の情報を提供した。	完了	
	県内の緩和ケアチームの連携を深める	緩和ケア部会活動の企画立案組織が脆弱である。 対面による会議が困難となっている。	WEB会議を行う。昨年度の経験を踏まえ、今後のWEB開催のノウハウを確立する。	令和3年3月	○	達成	必要な会議をすべてWeb開催した。会議開催のの標準となった。 コアメンバー会議2回 Web退院前カンファレンスに関する会議2回 緩和ケア研修会指導者の会会議2回	完了	

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和 3 年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表 》

令和 3 年 4 月 1 日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアの質の向上	新型コロナウイルスの影響で拠点病院の指定要件である緩和ケア研修会の開催が危ぶまれる23施設が緩和ケア研修会開催予定したが、中止は5施設一部web開催は3施設	緩和ケア研修会の一部Web開催が認められた。令和2年度にWeb開催した施設のプログラム、マニュアルを共有する。完全Web開催についての検討を始める。	令和4年3月					
	緩和ケアチーム診療機能の向上	緩和ケアチーム研修会でピアレビューを行っているが、評価方法ピアレビューによる改善が明確でない。	緩和ケアチームのピアレビューを緩和ケアチーム研修会以外の機会で行う事をめざす。病院の緩和ケアチーム間でZOOMなどを用い評価できるようなモデルを作成する。他県で行われているような病院幹部を巻き込む形とはしない。ヨークシャーピアレビューを参考にする	令和4年3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

事 務 連 絡
令和 3 年 2 月 9 日

各都道府県がん診療連携拠点病院担当課
国立研究開発法人国立がん研究センター担当課

御中

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

新型コロナウイルス感染症の流行下における
がん診療連携拠点病院等の指定要件の留意事項等について

がん診療連携拠点病院等におかれては、今回の一連の新型コロナウイルス感染症の対応にも尽力いただきながら、質の高いがん医療を提供いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

がん診療連携拠点病院等については、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（平成30年7月31日付け健発0731第1号厚生労働省健康局長通知の別添。以下「整備指針」という。）に定める指定要件を充足していることが求められており、がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会において、要件の充足状況の確認及び指定等を行っているところです。今回の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、来年度の要件の充足状況については、下記の通り、判断する方針といたしましたので、趣旨をご理解の上、引き続き、がん医療等の提供に取り組んでいただくようお願いいたします。

記

- 1 都道府県の方針等により、新型コロナウイルス感染症患者を重点的に受け入れる等の役割分担の結果として、一時的に整備指針に定める診療実績等の指定要件を充足することが出来なくなった場合においては、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ状況を加味する等により、がん診療連携拠点病院等の指定等に不利な取り扱いはしないこととする。ただし、この場合であっても、各都道府県は、代替してがん患者を受け入れる医療機関等を定めるなど、地域において必要ながん診療提供体制が確保できるように、適切な役割分担の調整をしていただくことが必要であることに留意されたい。
- 2 整備指針p15Ⅱ4（3）及びp27Ⅶ4（3）において情報提供・普及啓発が定められていることから、全てのがん診療連携拠点病院等において、以下の周知啓発を実施していただきたい。
 - a. がんの診療については、新型コロナウイルス感染症の流行下においても必要な医療であり、そのための受診については、緊急事態宣言下においても控えるべきものでは

ないこと。特に、患者や家族が自らの判断での受診の中断等を行うようなことはせず、受診の間隔をあけること等についても主治医と十分に相談するよう広く周知すること。

- b. 様々な状況を踏まえて、病院の方針等により定期的なフォローアップの方法や受診のルール等の変更がなされる場合には、患者・家族等へ広く周知すること。

3 自院で新型コロナウイルス感染症患者の診療を行っているかどうかや上記2の周知等を実施しているかにかかわらず、新型コロナウイルス感染症の流行によるがん患者の受療行動の減少等に伴って、整備指針に定める診療実績の指定要件を充足することが出来なくなる場合には、この間のがん診療や新型コロナウイルス感染症関連（後方支援等を含む。）の診療における実績等も踏まえて、一定の配慮を行う予定である。

4 整備指針p12Ⅱ3及びp26Ⅶ3に記載の指定要件「「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添）（以下「緩和ケア研修会の開催指針」という。）に準拠し、当該医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催すること。」について、以下の取り扱いとする。

今回の新型コロナウイルス感染症の流行下においては、実地での研修会の開催が困難であること、また、集合研修のロールプレイングについては現行の緩和ケア研修会の開催指針に準拠する形でweb等での代替が困難であることを踏まえ、ロールプレイングを実施したかどうかに関わらず、集合研修のうち講義とグループ演習について、現行の緩和ケア研修会の開催指針に準拠する形でweb等にて代替した研修会の開催により、がん診療連携拠点病院等における指定要件を充足したとみなす方針としたところであり、新型コロナウイルス感染症の流行下においても、必要な研修を実施するよう取り組んでいきたい。

また、令和3年度の現況報告において、当該指定要件の該当期間については、令和2年1月から令和3年12月までとする。

なお、現行の緩和ケア研修会の開催指針において、ロールプレイングも含めた全ての集合研修を行った場合にのみ修了とする取扱いについては、現時点では変更されておらず、現在、ロールプレイングをwebで行うことも含めた新しい研修のあり方について議論を進めているところであり、それらの方針が明確になった場合には、できる限り当該方針に沿った対応をお願いしたい。

○本件に係る照会先

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

拠点病院担当 湯川、采女

緩和ケア担当 成田、松沢

TEL: 03-3595-2192（直通）

2021年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会予定表（2021.6.1現在）

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			締切日 備考など
				電話番号	事務担当	企画責任者	
7月17日(土)	兵庫県立 丹波医療センター	12名	有り	0795-88-5200	がん相談支援センター 総務課	板倉 崇泰	2021年2月11日 延期分の開催のため、 前回申込者を優先
8月21日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	24名 (最大30名)	無し	078-302-4321	地域医療室連携課 稲越	西本 哲郎	院内のみでの開催
8月29日(日)	県立がんセンター	12名	若干名	078-929-1151	総務課 小林	丸中 淳	
9月11日(土)	姫路医療センター	15名	無し	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	吉村 純彦	
9月26日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	24名	有り	078-997-2200	地域医療課 谷之口	安藤 俊弘	新型コロナウイルスワクチン 接種済み者限定
10月2日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711	地域医療連携室 山田 香澄	山川 宣	外部募集ありません
10月3日(日)	赤穂市民病院	18名	有り	0791-43-8458	地域連携室	横山 弥栄	
10月17日(日)	西脇市立西脇病院	12名	有り	0795-22-0111	医事課 明山	木村 祥子	院内のみでの開催
10月31日(日)	県立淡路医療センター	20名程度	要相談	0799-22-1200	がん相談支援センター 岡田 加哉子	濱中 章洋	院外からの募集については 要相談(コロナの状況に よってはお断りします)
10月31日(日)	宝塚市立病院	30名	有り	0797-87-1161	経営統括部 (担当者未定)	野間 秀樹	
11月7日(日)	北播磨総合医療センター	18名	若干名	0794-88-8800	経営管理課 (総務企画係) 若尾	山名 順子	
11月27日(土)	県立尼崎総合 医療センター	24名	無し	06-6480-7000	経営企画部医事課 安芸 武	阪井 宏彰	院内のみでの開催
11月27日(土)	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	
12月4日(土)	兵庫医科大学病院	24名	無し	0798-45-6611	管理課	棚田 大輔	院内のみでの開催
12月5日(日)	JCHO神戸中央病院	10名 (原則院内)	有り	078-594-2211	総務企画課 伊藤 博一	三田 礼子	

2022年

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			締切日 備考など
				電話番号	事務担当	企画責任者	
1月29日 (土)	県立加古川医療センター	15名	無し	079-497-7000	総務課 平岩 一宏	田中 祐子	院内のみでの開催
2月11日 (金・祝)	加古川中央市民病院	9～24名	無し	079-451-5500	診療情報部 福田 小百合	西澤 昭彦	締切日 2021年12月上旬
2月19日(土)	神戸医療センター	12名	若干名	078-791-0111	地域医療連携係長 池田 健太郎	宮崎 博之	院内のみでの開催予定
2月20日(日)	市立伊丹病院	12名	有り	072-777-3773	総務課 丸 晴子	堀木 優志	
3月12日(土)	市立芦屋病院	24名	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野 万里子	大前 隆仁 山下 由紀子	締切日(予定) 2022年2月25日(金) 条件付きで院外者受講可

※ 上記研修会は新型コロナウイルスの流行状況により中止、変更等の可能性もあります。
詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

令和3年5月20日

兵庫県がん診療連携協議会参画病院長 様

兵庫県がん診療連携協議会

幹事長 藤野 泰宏

緩和ケア部会長 池垣 淳一

地域連携部会長 西崎 朗

緩和ケア部会・地域連携部会合同セミナーの開催について

新緑の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から本部会の運営につきまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび緩和ケア部会及び地域連携部会の合同セミナーを下記のとおり開催いたします。

つきましては、貴院関係者の皆様へ周知いただくとともに、参加についてご配慮いただきますようお願いいたします

記

- 1 テーマ Web による退院前カンファレンスを始めるために
- 2 日 時 令和3年6月24日 18時～
- 3 開催方法 Zoom による Web セミナー
- 4 参加対象 がん診療連携拠点病院等の地域連携室関係者、緩和ケアチーム
- 5 参加定員 90名。原則、定員になり次第締め切り。
応募多数で同一施設からの応募が多い場合は調整させていただく場合もあります。
- 6 プログラム 別紙のとおり
- 7 申込方法 参加ご希望のかたは以下 URL のフォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/ok4k8eFguiv6R8VZ6>



- 8 問合せ先 兵庫県立がんセンター 池垣淳一 ikegaki_j@mac.com

(別紙)

緩和ケア部会・地域連携部会合同セミナー

日 時 : 令和3年6月24日(木) 18時～

開催方法 : ZoomによるWebセミナー

テ ー マ : Webによる退院前カンファレンスを始めるために
プログラム:

1. 開会 あいさつ

兵庫県立丹波医療センター院長 地域連携部会長 西崎 朗

2. Web 退院前カンファレンスとは

兵庫県立がんセンター緩和ケアセンター長 池垣 淳一

3. Web 退院前カンファレンスの実際と課題

神戸市医療センター神戸中央市民病院 地域医療推進課 鷗端 洋人

4. Web 退院前カンファレンス開催の1年を振り返る

姫路赤十字病院 地域医療連携課 前田 智成

5. 質疑応答

6. 閉会

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項目	内容
令和2年度の活動報告	○ がんパスの使用状況につき検討した。令和2年3月末時点におけるアンケート調査を行い、乳がん3,205、胃がん2,098、大腸がん1,505、肺がん1,035、肝臓がん104、子宮体がん 4、前立腺がん732、累計8,683件の地域連携パス利用があった。 ○ 大腸癌ESDパスを実際に運用した。導入上の大きな問題点は上がっていない。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出した。既存の連携ノートの内容につき検討した。取り扱い規約の更新に伴う変更部分は各施設対応とした。
令和3年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ 新規パス(大腸がんESDパス)とともに既存のパスの運用上の問題点を抽出する。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。 ○ 緩和ケア部会・地域連携部会 合同セミナー（令和3年6月24日 WEB開催予定） （テーマ:Webによる退院前カンファレンスを始めるために）

《令和 2年度 P D C A サ イ ク ル実施計画・管理表》

令和 3年 3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	パス利用率向上	パスの利用率は必ずしも高くなく、すべてのがん拠点病院での利用が見込まれる。	(1) 2019年度のパス利用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する (3) 各部会ごとに問題点や課題を明らかにし、取り組みについて検討する。	令和3年 3月	△	概ね 達成	パス利用状況を調査した。すべての拠点病院でのパス利用は必ずしも増加していない。しかし、臨床パス学会の評価は、兵庫県は比較的運用できてい方であるとの評価である。がん取り扱い規約の改変にともない、患者用ノートの内容が一部改変されてない部分がある。各施設で対応していただくこととした。	継続	パス利用状況を調査し、問題点を明らかにする。
	パスの運用上の問題点の検討	新規パスの大腸がんESDパスや、すでに使用しているパスの運用上の問題点は必ずしも明らかになっていない。	(1) 新規パスの実施状況と問題点の確認する。 (2) 既存パスの問題点を明らかにし、改善につき検討する。	令和3年 3月	△	概ね 達成	新規パスに関しては、徐々に運用が進んでいるが、導入時での大きな問題の報告はない。 既存パスに関しては、がん取り扱い規約の改変と患者用ノートの記載事項のずれが指摘された。各施設で改変していただくこととした。	継続	新規パスの導入状況につきアンケートをとり問題点を抽出する。 既存のパスに関しても同様にアンケートで問題点を抽出したい。
	がん地域連携の問題点の抽出と検討	がん地域連携の問題点が共有されていない	(1) がん地域連携パス5年目の対応につき各部会で検討する。 (2) がんゲノム医療など新規がん医療に対する情報連携を検討する。	令和3年 3月	△	未達成	コロナ禍もあり、がんパス5年後の対応について各部会での議論は行えていない。 がんゲノム医療については、兵庫県では拠点病院化されている。 医療者には情報がある程度提供されているが、がん患者に関してはゲノム医療の拠点病院以外では十分提供されていない。	継続	5年目以降のパス連携患者の状況につき、再度各部会で問題がないか検討する。 がんゲノムに関しては、情報へのアクセスに問題がないか検討する

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、**達成**・**概ね達成**・**未達成** から、A改善における区分は、**完了**・**継続**・**その他** から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

《令和3年度 P D C A サ イ ク ル 実 施 計 画 ・ 管 理 表 》

令和 3 年 4 月 1 日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	パス利用の向上	パス利用は必ずしも高くな く、使用する施設が固定化し つつある。均てん化が可能か を検討する。	(1) パスの利用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する (3) 各部会ごとに課題を検討し、課題の解決法を検討する。	令和4年 3月					
	パス運用上の問題 点の検討	既存パスおよび新規パスの運 用上の問題点は明らかになっ ていない。	(1) 新規パスの実施状況と運用上の問題点を明らかにする (2) 既存パスの課題を明らかにし、改善をはかる	令和4年 3月					
	がん地域連携の課 題の抽出と検討	がん地域連携の課題は必ずし も共有されていない	(1) がん地域連携におけるリモートワークの実態を調べる (2) がんゲノム医療など新規治療に関する情報連携を検討す る	令和4年 3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、**達成**・**概ね達成**・**未達成** から、A改善における区分は、**完了**・**継続**・**その他** から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

がんの地域連携パスについて 報告

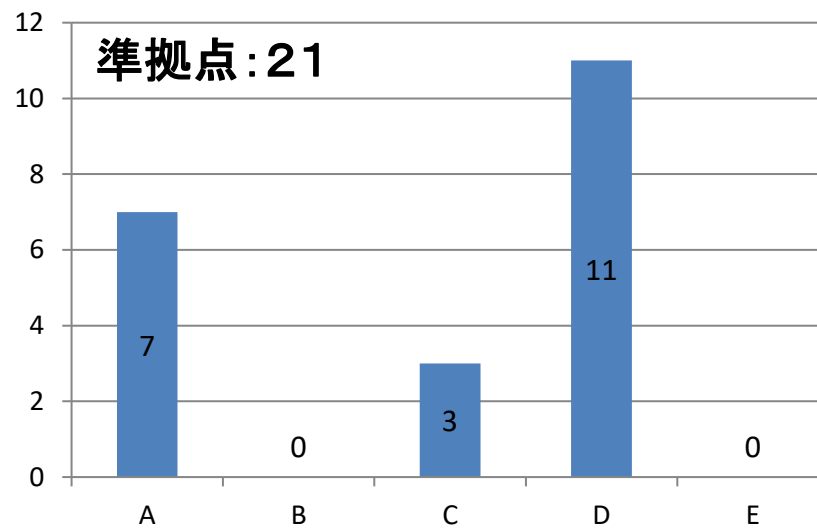
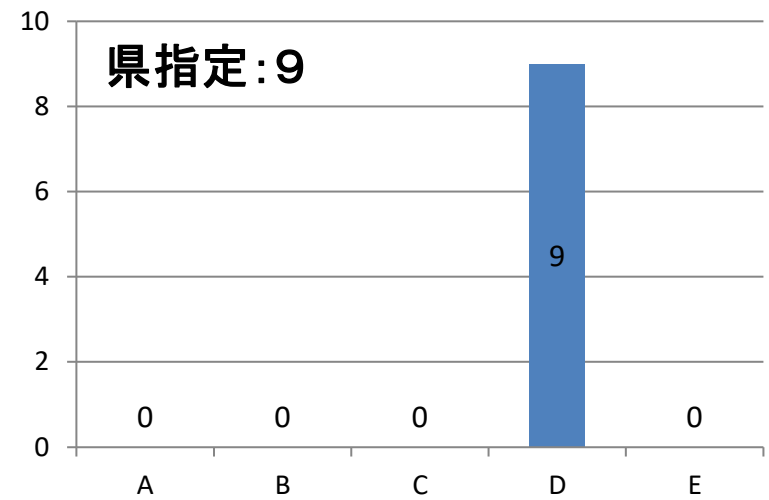
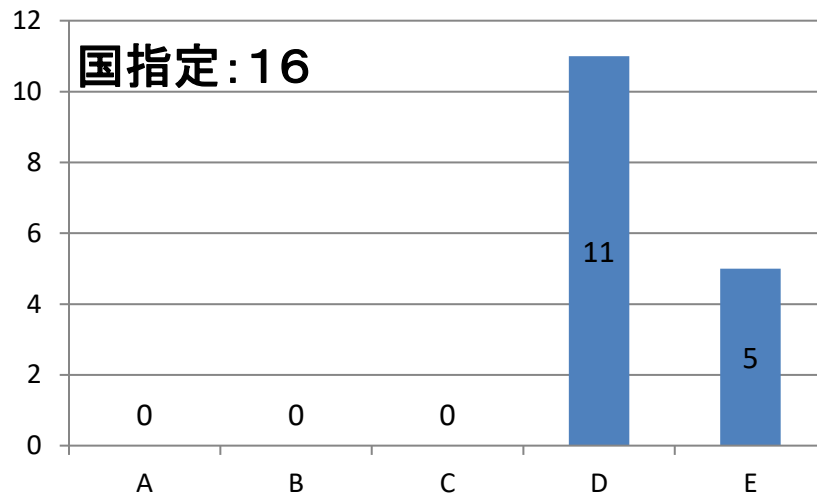
- 2021年3月末時点におけるがん拠点病院等47施設にアンケート調査を行った。
- 国指定；16施設中5施設で5大がん全てのパスが稼働中。他の11施設は、少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- 県指定；5大がん全てのパスが稼働中の施設はなし。9施設全てで少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- 準拠点；5大がん全てのパスが稼働中の施設はなし。21施設中、11施設で少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。他は、院内で調整中であるのが7施設、施設基準の届出がはじまっているのが3施設である。
- 承認病院；1施設。院内で調整中である。
- 2020年度の登録件数は1,301件となり、2021年3月末時点で累計9,984件のパスが運用中。

その内訳は、乳がん3,914件（39.2%）、胃がん2,347件（23.5%）、大腸がん1,691件（16.9%）、肺がん1,141件（11.4%）、肝がん107件（1.1%）、前立腺がん778件（7.8%）、子宮体がん6件（0.1%）。

- パス脱落症例は、累計912件（2020年度224件）。
- 大きなバリエーション発生症例は、累計19件（2020年度0件）であった。
- 兵庫県統一でない5大がんのパスの運用を導入しているのは、2施設であった。

がん診療連携パスの進捗状況

➤ 1. 連携システムの構築・パス進捗状況について



- A：院内で調整中である
- B：施設基準の届け出前
- C：施設基準の届け出が始まっている
- D：実際にパスが実動している（少なくとも1種類）**
- E：5大がん全てのパスが稼働中**

がん診療連携パスの進捗状況

計 9,984

➤ 2-1. パス稼働について（5大がん）

5大がん 兵庫県統一パス登録件数（2010年4月～2021年3月末の累計）						
	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん
	9200	1141	2347	1691	107	3914
(2020年度登録数)	1253	106	249	186	3	709
(登録数 前年度比)	+30	-8	-14	+9	-4	+47
県立がんセンター	2075	358	457	464	32	764
兵庫医科大学病院	928	142	201	40	19	526
神戸市立医療センター中央市民病院	684	20	122	23	0	519
関西労災病院	765	5	353	36	0	371
姫路赤十字病院	675	34	170	200	17	254
近畿中央病院	646	2	114	63	0	467
県立淡路医療センター	583	263	152	147	20	1
県立尼崎総合医療センター	486	188	42	4	0	252
市立伊丹病院	294	50	68	91	0	85
宝塚市立病院	262	6	97	154	0	5
他37施設(国 8、県 7、準 21、承 1)	1802	73	571	469	19	670

➤ 2-2. パス稼働について（子宮体がん，前立腺がん）

- ・ 子宮体がん； 6 （2020年度登録数 2）
- ・ 前立腺がん； 778 （2020年度登録数 46）

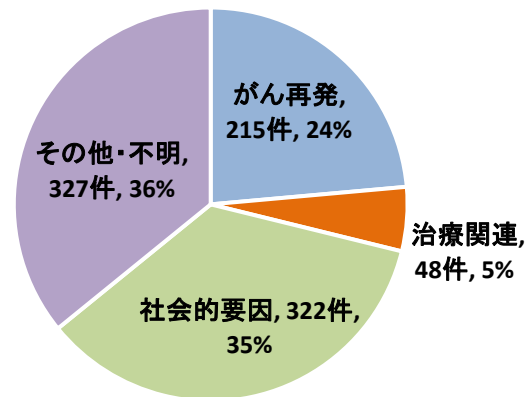
がん診療連携パスの進捗状況

➤ 3. パス脱落症例について

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	9984	1141	2347	1691	107	3914	6	778
脱落件数(累計)	912	224	247	185	30	117	2	107
2020年度 脱落件数	224	41	62	56	2	43	2	18
(件数 前年度比)	+80	+11	+34	+28	-1	+19	+2	-13
脱落割合	9.1%	19.6%	10.5%	10.9%	28.0%	3.0%	33.3%	13.8%

脱落の原因,
件数(累計), 割合

(2020年度件数)	
がん再発	39 件
治療関連	10 件
社会的要因	84 件
その他・不明	91 件
合計	224 件



バリエーション内容・脱落事例

- ・永眠
- ・患者希望
- ・主病院変更
- ・コロナ感染拡大のため、医療機関を兵庫県立がんセンターへまとめたいという患者希望のため。
- ・大腸がんパス利用中に婦人科の癌を併発し、兵庫県立がんセンターで2科併診となったため、すべて兵庫県立がんセンターで治療することとなった。
- ・担当医の判断
- ・連携先が閉院
- ・連携先担当医退職

➤ 4. バリエーション発生症例について (2020年度 発生0件)

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	9984	1141	2347	1691	107	3914	6	778
発生件数	19	5	8	3	3	0	0	0
発生割合	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%

5. パス普及のシステム上の問題点・課題点（脱落・バリエーション以外で、連携開始後困ったことが発生していましたら、ご記載ください。）

- ◆ 連携医療機関との患者情報の相互共有が連絡ノートを用いた方法となっており、他院受診時の詳細な受診結果が電子カルテに保存されない（地域連携パスの経過報告書は取り込みされているが、詳細な観察項目は含まれていない）

6. パス稼働の際の新たな提案、提言（普及のためのご意見）

- ◆ 市民向けへの普及活動も必要ではないか。
- ◆ 地域の診療所でどの程度パスが普及しているのか不明。連携医の一覧について情報提供は可能か。
- ◆ 「乳がんパス」の触診の項目について；検診では触診はガイドラインでも推奨される診察ではないため、触診の項目は削除しても良いのではと考えます。（専門医外の医療機関での受け入れが難しい要因にもなっている）

7. 「がん治療連携計画策定料」や「がん治療連携指導料」等に関し、以下のチェックを行い、ご意見をお願いします。

A 貴院の「がん治療連携計画策定料」の算定は、どのような状況ですか。

策定料が上手く算定できていない場合には、どのような対策をしていますか。

- ◆ 窓口を外来部門とし、OP後のIC時に説明するよう手順変更した。
- ◆ 対象患者は外来で拾い上げはできているが、患者の都合もあり運用開始に至っていない。そのため策定料が取れていないので、パスの説明時に患者のメリットを詳しく説明するようにしている。
- ◆ 未だ、1件のみの活用である。なかなか医師との連携で利用ができていない。（院内周知の不足）
- ◆ コロナ禍により院外との積極的な連携摺り合わせを行う機会が減った。オンラインの連携について地域が消極的。
- ◆ 地域との連携が困難であるため、県様式に準じた「前立腺がんパス」を独自で展開している。

B 「がん治療連携指導料」の算定について、連携医の状況をご存知でしたら教えてください。

指導料が上手く算定できていない場合には、どのように対策を連携医の先生に説明していますか。

- ◆ 連携医療機関へはがんパス連携依頼時に算定について説明しているが、その後の状況については分からない。

C 平成24年4月以降診療報酬算定の施設基準の申請は、拠点病院（準じる病院も含む）の役割となっていますが、申請は順調に進んでいますか。申請が滞っている原因についてはどう思われますか。

- ◆ 現在パスが無くてもかかりつけ医とも連携が取れており、他に優先すべき事例があるため進みにくいと考えます。
- ◆ 南阪神圏域は関西労災病院がまとめて連携先病院を整理してくれている。

D パス適応患者があった場合、連携医療機関（かかりつけ医）への診療情報の連絡は順調にいつていますか。連絡作業のうまくいつている病院については、どのような工夫をされていますか。

- ◆ パス運用の院内システムは構築され、電子カルテ上で対象患者であることを重要コメントとして共有して活用している。
- ◆ 病棟、外来以外に情報のやりとりをする担当部署を決め、運用しているため、一元管理できている。
- ◆ 連携医療機関がほぼ固定化してきているため、早めの電話連絡などができている。
- ◆ 対応可能な連携医療機関に対しては、診療情報提供書を連携室にてFAX対応している。
- ◆ 地域連携パスを使用している医療機関については、診療部長に同行して地域医療連携室職員が訪問し、問題になっていること等を確認している。

- ◆ 地域連携パス導入の支援を地域医療連携部が担っており、診療情報提供書の記載確認と連携医療機関への連絡をもれなく行うようにしている。またパス継続患者が各病院受診時には、必ず連携ノートを持参するように患者へ協力依頼し、がんセンター受診時の診察項目を連携医療機関に確認して頂くようにしている。地域連携パス診療経過報告書で返信が必要なコメントの記載がある場合には、地域医療連携部より主治医へ連絡し、診療情報提供書記載依頼を行っている。

8. 平成 31 年4月から令和 2 年3 月末までの期間で、地域の医師会との協議や説明会を実施された状況をお聞かせ下さい。

A 地域の医師会との協議について

協議の中で出された問題点等ありましたらお書き下さい。

- ◆ 医師会との協議は行えていないが、一部の医師会、医療・介護連携支援センターに働きかけ、地域全体でパスを構築できるよう提案した。また、今後の改善につなげていくための参考として、がんパス運用についてのアンケートを実施した。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症のため、開催していない。
- ◆ 個別に対応しているため、別段の協議は実施予定なし。

B 地域の医師会への説明会について

説明会で特筆するご意見等ありましたらお書き下さい。

- ◆ 改めての説明会は行っていないが、連携医療機関リストに上がっていないもしくはかかりつけ医がいない場合、患者が希望された医療機関へ訪問し説明している。
- ◆ 地域の連携 32 機関登録していただいている。令和 2 年度に新たに患者のかかりつけ医であった 1 診療所に登録いただいた。
- ◆ 泌尿器科オープンカンファレンスにて、前立腺がんパスの再開と広報を行った。
- ◆ 地元医師会の説明会の呼びかけがあれば、積極的に参加したい。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症のため、開催していない。
- ◆ 個別に対応しているため、別段の協議は実施予定なし。

9. 連携先の診療所、医療機関からのご意見などがありましたらお書きください。

- ◆ 専門医でないと 5 大がん CP の受け入れに不安がある。
- ◆ 患者は受診時、連携ノートを忘れたり記載漏れがある。十分利用されていない場合があるため、必要性について再確認する必要がある。
- ◆ かかりつけ医から、連携計画で採血項目についての問い合わせが 1 機関からあった。
- ◆ 日頃から連携している複数のかかりつけ医から、「がん診療連携計画を年単位で管理することが手間である」や、「診療情報提供書に加え専用のパス様式を使用することで自院での管理が煩雑になることが予想され、運用に対して億劫である」などのかかりつけ医にご負担になるとの意見があり、運用に至っていない。
- ◆ 特になし。意見ではないが、施設基準の届出が済んでいても、また、加入の申込をされるケースが散見される。やはり、開業医の先生方への説明不足はいつまでも残る課題と思う。

10. 患者さんからのご意見

- ◆ 地域連携パスの適応になるがんのステージが低いので、病院だけで十分な治療が受けられるのに、定期的にかかりつけ医にかかるのが面倒。

11. その他 がんの地域連携パスの現状について、全体を通してご意見ををお願いします。
(うまくいっている理由や、うまくいかない理由、改善策など)

- ◆ がん診療支援推進委員会を設けて、パス以外の活動も実施しているが、パスの普及についてはあまり進んでいない。今後検討が必要と考える。
- ◆ 当院での件数は少ないですが、がん治療における関連病院(がん診療連携拠点病院に準ずる病院)として連携させて頂いております。
- ◆ 院内でがん地域連携パスの存在が知られていないところがあり、他病院と比較しても件数が少ない。また、院外においても連携保険医療機関の数を増やすために、院内外で広報をする必要性がある。
- ◆ アンケートより、がんパスの受け入れに対する不安やがんパスを知らない開業医があった。引き続き地域全体でのパス構築の働きかけやかかりつけ医との連携を図り、後追いしながらパスを推奨していく必要がある。
- ◆ 連携していただく医院、病院でのフォローにしてもらう際の採血などの検査項目は各病院でどのように決定されているのかを知りたい。(兵庫県統一版の検査項目以外を設定されているのか？また削除されているものはあるのか？など)
- ◆ パスは浸透していないと思うが、今、パスの説明会等を積極的に進めるにはなにがしかのインセンティブが必要と考える。医師、患者さんに説明するいい資料はないでしょうか。当院の患者ノートだけでは不十分と思う。
- ◆ 患者さんの療養ノートとしての意味合いが強く、それ以上の意味合いは薄いと感じている。患者さんには当院で作成した患者ノートを渡して、以降の検査結果の記録、症状の記録、診察時のメモとして利用していただいている。その点だけでも患者さんにとっては意味があると思う。
- ◆ 拠点病院と連携している医療機関へ同様のアンケートを行いご意見を聞くことで、今後の地域連携パスの推進や運用に活かせるのではないかと考える。
- ◆ 積極的な広報を行い、新たな連携登録医療機関を増やしたいと考えています。また、院内においても、医師の人事異動もあり、がんパスのことを知らない医師もいる可能性があるので、関係する医師等にパスの運用について改めて周知するとともに、対象患者について働きかけていきたいと考えています。
- ◆ がんパスを電子カルテに掲載し、活用できている。他の疾患への働きかけが必要と考える。
- ◆ 医療機関向けの広報誌でパスへの参加施設を募っている。
- ◆ 電子カルテの氏名の横にマークを付け、職員がカルテを開いたときに、パスで地域医療機関と連携している患者であることが分かるようにしている。
- ◆ 患者さんがパスノートを持参していない事が多いので声かけの徹底や、地域の医療機関で滞っている場合は、外来受診時に患者さんに地域の医療機関の受診状況や今後の意向を尋ねるようにしている。
- ◆ 基本的には開業医の泌尿器科の Dr との連携パスを施行している。そのため、再発時や PSA 上昇時にスムーズに再紹介していただき、すぐに治療に取りかかることができ、患者の QOL の向上や当院でのスムーズな治療に寄与していると思われる。
- ◆ 現在、がん連携パスの窓口は患者総合支援センター(地域医療連携室)が担っているが、外来部門との連携が不十分である。また、院内でがんパス運用について周知できていない。一部の医師と患者総合支援センタースタッフのみで完結している。今後は窓口を外来部門とし、患者総合支援センタースタッフは開業医との連携、個人ノートの作成を行うように手順を変更した。
- ◆ 今年度、再度がんパス委員会を立ち上げパスの現状把握、パス推進を行ってきた。その成果として「乳がんパス」の稼働実績を得ることが出来た。現在、県統一版大腸 ESD パスの原案を段階的に検討中である。
- ◆ 乳腺外科の専従常勤医師が赴任し、今まで滞っていた乳がんパスの導入を開始した。市内に 2 件ある乳腺外科クリニックとの連携が深まったと思われる。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症等で対象患者さんの減少に繋がり、本年は取り組むことが難しかった。次年度に向けて医師と協力し、利用者の増患に取り組む。
- ◆ 今後がんの地域連携パスも開始していけるように検討中

連携医療機関リスト集計（R3.3.31現在）

(件)

* 地域別集計

地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸	880	696	660	490	460	440	39	117
阪神南	2545	1673	1606	1528	1420	1245	433	608
阪神北	1328	839	814	780	742	614	109	225
東播磨	394	311	305	280	278	250	23	108
北播磨	193	165	162	152	152	106	9	14
中播磨	477	387	386	359	345	234	18	11
西播磨	66	56	57	51	51	41	6	8
但馬	94	89	87	78	69	50	3	9
丹波	46	38	33	8	9	7	4	8
淡路	121	113	109	107	109	92	4	66
県外	53	35	33	27	30	30	11	13
計	6,197	4,402	4,252	3,860	3,665	3,109	659	1,187

* 各病院詳細

(件)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
近畿中央病院	芦屋市	11	10	10	10	9	9	7	7
	伊丹市	54	47	45	35	32	20	2	12
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	西宮市	95	87	86	83	74	73	34	39
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
	尼崎市	126	117	113	98	93	66	18	37
	宝塚市	29	25	24	23	24	17	3	6
	川辺郡	2	2	2	2	1	1		
	県外	1	1						
合計	11	351	320	311	281	260	212	70	111

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
関西労災病院	尼崎市	130	120	100	96	90	70	17	33
	西宮市	102	94	93	91	83	79	35	35
	芦屋市	11	9	9	9	8	8	7	6
	伊丹市	38	34	31	31	27	19	2	6
	宝塚市	33	30	25	23	23	18	4	6
	川西市（猪名川含む）	16	13	13	13	11	10	4	2
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	姫路市	2	2	2	2	2	2	0	0
	神戸市	2	2	2	2	2	2	1	2
	大阪市	3	1	1	1	1	3	1	1
合計	10	354	321	292	284	261	225	73	95

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸大学医学部附属病院	神戸市	111	108	107	96	84	78		
	姫路市	11	9	9	9	9	9		
	西宮市	1					1		
	芦屋市	2	1	1	1	1	2		
	伊丹市	1	1	1	1	1	1		
	明石市	2	2	2	2	2	2		
	西脇市	1	1	1	1	1	1		
	加東市	1	1	1	1				
	相生市	1	1	1	1	1	1		
	佐用町	1	1	1					
	三田市	3	3	3	3	2	3		
	三木市	4	4	4	3	4	2		
	宍粟市	1	1	1	1	1	1		
	淡路市	1	1	1	1	1	1		
合計	14	141	134	133	120	107	102	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 中央市民病院	神戸市	171	134	101	85	80	83		22
	淡路市	4	3	3	2	3	2		1
	姫路市	8	7	7	7	7	6		
	芦屋市	5	4	3	3	2	3		1
	三田市	5	3	2	2	2	1		1
	西宮市	12	3	3	3	3	4		7
	加東市	2	1	1	1				1
	明石市	9	4	1	1	1	2		3
	尼崎市	2	1						1
	宝塚市	3					1		2
	豊岡市	1				1			
	伊丹市	1							1
	川西市	3							2
	丹波市	4	2	2	2	2	2		1
	加西市	1							1
	佐用町	1							1
	赤穂郡	1	1	1	1	1	1		
	洲本市	1	1	1	1	1	1		
	三木市	2	1	1	1	1	1		
	加古川市	1							
	揖保郡	1							
	篠山市	1							
	南あわじ市	1					1		
	県外	9	8	7	7	8	6		
合計	24	249	173	133	116	112	114	0	45

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路赤十字病院	姫路市	65	19	21		4	21		
	たつの市	1				1			
	宍粟市	1		1					
	佐用町	6		3		3			
	相生市	1	1						
合計	5	74	20	25	0	8	21	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路医療センター	城南	5	4	4	4	4	3		
	城巽	5	5	5	5	5	4		
	東光	11	10	10	10	9	6		
	野里	5	5	5	5	4	1		
	城北	7	6	6	6	7	4		
	城西	7	7	7	7	6	4		
	高岡	9	9	9	9	8	7		
	安室	11	10	11	10	10	4		
	飾磨東	7	7	7	6	6	5		
	飾磨中	11	11	11	10	8	5		
	山陽	9	8	7	9	8	4		
	飾磨西	4	4	4	4	4	4		
	広畑	6	6	6	6	5	5		
	網干	3	2	2	3	3	0		
	たつの市	4	4	4	4	4	2		
	佐用町	1	1	1	1	1	1		
合計	16	105	99	99	99	92	59	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
赤穂市民病院	赤穂市	9	9	8	8	6	5		
	相生市	4	4	3	3	2	3		
	上郡町	8	8	8	8	8	8		
	たつの市	3	3	3	3	3	2		
	佐用町	2	2	2	2	2	2		
	宍粟市	5	5	5	5	5	3		
	姫路市	5	5	5	5	5	4		
合計	7	36	36	34	34	31	27	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 淡路医療センター	洲本市	23	23	23	21	22	20		14
	淡路市	23	23	22	23	23	20		20
	南あわじ市	25	25	23	25	25	23		16
合計	3	71	71	68	69	70	63	0	50

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立豊岡病院	豊岡市	35	34	34	32	30	23		
	養父市	9	9	9	9	7	5		
	朝来市	6	6	5	3	2	3		
	香美町	1	1	1	1	1	1		
	県外	5	5	4	4	4	3		
合計	5	56	55	53	49	44	35	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫医科大学病院	西宮市	122	111	104	99	85	75	34	47
	芦屋市	15	13	13	12	9	10	6	6
	宝塚市	32	27	25	24	25	18	5	7
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	109	98	97	90	90	61	15	29
	川西市	14	13	13	13	12	11	3	5
	伊丹市	36	33	33	32	30	20	2	7
	川辺郡	3	3	3	3	2	2	1	1
	神戸市	3	1	1		1		1	
	明石市	1	1	1	1				
	加東市	1	1	1	1				
	美方郡	1	1	1					
	南あわじ市	1					1		
	淡路市	1	1	1	1	1	1		
	県外	10	7	7	6	6	3	2	2
合計	15	366	326	316	298	275	216	71	108

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西脇市立西脇病院	西脇市	14	12	13	11	10	7		
	三木市	16	15	14	15	15	13		
	小野市加東市	11	11	11	10	9	9		
	加西市	11	11	11	11	10	7		
合計	4	52	49	49	47	44	36	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 丹波医療センター	丹波市	21	20	17					
	丹波篠山市	7	6	5					
	多可郡多可町	2	2	1					
	朝来市	2	2	2					
合計	4	32	30	25	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立 西神戸医療センター	神戸市西区	13							16
	神戸市垂水区	11							5
	神戸市須磨区	9							4
	三木市	2							
	明石市	1							1
	神戸市東灘区	8							
	神戸市灘区	10							
	神戸市中央区	9							
	神戸市兵庫区	2							
	神戸市北区	5							
	神戸市長田区	6							
	姫路市	7							
	芦屋市	2							
	三田市	1							

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立 西神戸医療センター	淡路市	1							
	西宮市	4							
	宝塚市	2							
	川西市	2							
	加西市	2							
	佐用郡	1							
合計	21	98	0	0	0	0	0	0	26

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立伊丹病院	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	西宮市	96	88	87	84	74	71	34	38
	芦屋市	11	9	9	9	8	9	8	7
	宝塚市	29	25	24	23	24	17	4	7
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	102	95	93	89	82	59	16	29
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	猪名川町	2	2	2	2	1	1		
	伊丹市	39	32	33	32	28	19	2	9
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	314	284	281	271	246	204	72	102

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
加古川中央市民病院	稲美町	7	6	6	5	6	4		4
	加古川町	18	11	11	9	7	10		10
	加西市	1	1	1					
	高砂市	19	16	16	10	10	8		9
	三木市	2	2	2	2	2	2		
	志方町	1	1	1	1	1	1		
	上荘町	1	1	1	1	1			
	神野町	2	2	2	1		1		1
	西神吉町	5	5	4	4	3	2		1
	東神吉町	2	2	2	1	1	1		1
	播磨町	7	5	5	5	5	4		4
	八幡町	1	1	1	1	1	1		
	尾上町	7	5	5	5	5	3		3
	姫路市	4	2	2	2	2	3		
	平岡町	8	7	7	7	7	6		4
	米田町	1	1	1	1	1	1		
	別府町	5	4	5	5	3	5		3
	明石市	5	4	4	4	4	4		1
	野口町	6	6	5	4	4	3		2
合計	19	102	82	81	68	63	59	0	43

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立がんセンター	明石市	99	80	81	73	73	53	14	45
	加古川市	53	45	44	42	43	36	6	7
	稲美町	8	6	6	4	6	4	1	2
	播磨町	8	7	7	7	7	6	1	2
	高砂市	25	20	20	20	22	18	1	0
	西区	50	46	42	41	36	29	9	19
	垂水区	49	39	35	31	37	24	10	17
	須磨区	18	16	17	13	12	11	2	2
	北区	14	13	13	10	8	8	2	0
	東灘区	10	8	9	9	8	6	0	2
	灘区	11	7	7	7	7	7	4	2
	中央区	22	17	17	14	13	8	3	3
	長田区	10	10	10	10	10	7	1	2
	兵庫区	10	8	9	5	6	5	1	2

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立がんセンター	三木市	23	17	15	18	20	14	4	4
	加西市	9	6	6	5	6	3	1	3
	加東市	7	5	6	5	5	3	0	1
	西脇市	13	8	8	7	10	4	3	3
	多可郡	5	5	5	5	5	1	1	1
	小野市	9	9	9	9	8	6	0	0
	姫路市	37	27	24	24	22	15	3	7
	神河町	1	1	1	1	1	1	1	1
	福崎町	1	1	1	1	1	1	1	1
	赤穂市	2	2	2	2	2	2	2	2
	宍粟市	2	2	2	2	1	1	1	1
	佐用町	1	1	1	1	1	1	0	0
	たつの市	4	4	4	4	4	2	2	3
	相生市	1	1	1	1	1	1	0	0
	太子町	1	1	1	1	1	1	1	1
	上郡町	1	1	1	1	1	1	0	0
	三田市	5	3	4	3	3	2	0	1
	宝塚市	3	0	0	0	0	2	1	0
	尼崎市	3	1	1	1	1	2	2	1
	西宮市	7	3	3	1	2	3	3	2
	南あわじ市	9	9	9	8	8	4	1	6
	淡路市	17	16	14	14	14	11	0	4
	洲本市	12	9	10	9	9	5	3	5
	豊岡市	10	9	7	6	6	2	1	4
	朝来市	5	5	5	5	4	2	1	3
	養父市	4	4	4	4	3	3	1	1
	香美町	2	1	1	1	0	2	0	1
	丹波市	8	6	5	3	3	1	1	3
	篠山市	3	3	3	2	3	3	2	2
	大阪市北区	1	0	0	0	0	0	1	0
	大阪市東淀川区	1	0	1	0	0	0	0	0
	豊中市	1	1	1	0	0	0	0	0
	大阪市中央区	2	1	1	0	0	1	0	0
	吉野郡大淀町	1	0	0	0	0	0	0	1
	大島郡知名町	1	1	1	1	1	1	1	1
	大阪市福島区	1	0	0	0	0	1	0	0
	大阪市淀川区	2	2	2	0	0	0	0	0
	京都府福知山市	1	1	1	1	1	1	0	1
	鳥取市	1	1	1	1	1	0	0	0
	寝屋川市	2	0	0	0	0	2	0	0
	東京都豊島区	1	0	0	0	0	1	0	0
	奈良市	1	0	0	0	0	1	0	0
合計	57	608	489	478	433	436	329	93	169

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 尼崎総合医療センター	尼崎市	32		4		23	50		8
	伊丹市	1					3		
	宝塚市	2					3		
	芦屋市	2							1
	西宮市	2					4		
	大阪府	3				2	1		1
合計	6	42	0	4	0	25	61	0	10

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立西宮病院	西宮市	88	79	78	75	65	63	25	33
	尼崎市	89	82	80	78	74	56	15	26
	伊丹市	30	28	28	28	28	19	2	6
	宝塚市	27	23	23	22	23	16	3	6
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立西宮病院	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	芦屋市	9	8	8	8	7	8	6	6
	猪名川町	2	2	2	2	1	1	0	0
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	姫路市	1	1	1	1	1	1	0	0
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	12	280	255	252	245	227	191	59	89

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西宮市立中央病院	西宮市	100	90	89	87	77	76	35	44
	芦屋市	12	10	10	10	9	9	6	6
	宝塚市	29	25	24	24	24	17	4	7
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	99	87	86	83	77	56	17	30
	川西市	13	12	12	11	12	10	3	5
	猪名川町	2	2	2	2	1	1		
	伊丹市	30	28	28	28	26	18	2	5
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	10	306	274	271	264	243	204	72	104

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
県立加古川医療センター	加古川市	43	35	36	36	33	36		3
	高砂市	24	22	22	21	22	19		
	姫路市	10	8	8	7	8	7		
	明石市	2					2		
合計	4	79	65	66	64	63	64	0	3

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神鋼記念病院	神戸市	64	44	48	37	29	37		10
	芦屋市	6	2	3	1	1	2		1
	西宮市	6					7		2
	三田市	1	1	1					
	加東市	1	1	1					
	明石市	5					4		2
	丹波市	1							1
	宝塚市	1					1		
	加古川市	1					1		
	伊丹市	1					1		
	川西市	1					1		
	尼崎市	1					1		
合計	12	89	48	53	38	30	55	0	16

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸医療センター	神戸市	117	111	110	93	79	82		
	明石市	3	3	3	3	3	1		
	淡路市	2	2	2	2	2	2		
	伊丹市	1	1	1					
	加古川市	1	1	1	1	1	1		
	加西市	1	1	1	1		1		
	三田市	1	1	1	1	1			
	多可郡	1				1			
	西宮市	1	1	1	1	1	1		
	姫路市	3	3	3	3	3	3		
合計	10	131	124	123	105	91	91	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
製鉄記念広畑病院	姫路市	101	95	95	94	89	34	13	
	たつの市	1	1	1			1		
合計	2	102	96	96	94	89	35	13	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
北播磨総合医療センター	三木	18	17	16	15	14	11		
	小野	10	10	10	10	9	7		
	加東	4	4	4	3	4	1		
	加西	9	9	9	8	8	7		
	西脇	4	4	4	4	4	4		
	多可	2	2	2	2	2	1		
	神戸	15	15	15	11	9	10		
	明石	2	1	1	1	1	2		
	加古川	1	1	1	1	1	1		
	高砂	1	1	1	1	1	1		
	加古郡	1	1	1	1	1	1		
合計	11	67	65	64	57	54	46	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
宝塚市立病院	芦屋	10	9	9	9	9	9	7	7
	伊丹	32	29	29	29	27	18	2	7
	三田	17	16	16	16	14	14	3	5
	篠山	1	1	1	1	1	1	1	1
	神戸	2	2	2	1	1	1	1	1
	西宮	91	82	81	77	72	68	35	43
	川西	15	13	13	13	11	10	4	7
	川辺郡	4	4	4	4	3	3	2	2
	尼崎	94	87	83	81	75	55	17	30
	宝塚	82	77	74	71	74	62	21	43
合計	10	348	320	312	302	287	241	93	146

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸赤十字病院	神戸市	22	20	21	19	20	20		
	明石市	1	1	1	1	1	1		
合計	2	23	21	22	20	21	21	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路中央病院	姫路市	1		1					
合計	1	1	0	1	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立八鹿病院	養父市	9	9	9	9	8	5		
	朝来市	6	5	6	5	5	3		
合計	2	15	14	15	14	13	8	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
三田市民病院	三田市	18	17	17	17	15	15		
	宝塚市	17	16	16	16	15	12		
	伊丹市	16	16	16	16	15	11		
	川西市	8	8	8	8	7	7		
	猪名川町	1	1	1	1	1	1		
	西宮市	32	32	32	32	28	28		
	尼崎市	43	42	41	41	37	29		
	芦屋市	3	2	2	2	2	3		
合計	8	138	134	133	133	120	106	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸中央病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
川崎病院	神戸市	1	1						
合計	1	1	1	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 西市民病院	須磨区	4							2
	兵庫区	1							
	長田区	1							1
	垂水区	1							1
合計	4	7	0	0	0	0	0	0	4

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立川西病院	阪神北	1	0	2					
合計	1	1	0	2	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫中央病院	芦屋市	4							
	伊丹市	20							
	三田市	18							
	西宮市	48							
	川西市	11							
	川辺郡	2							
	尼崎市	67							
	宝塚市	22							
合計	8	192	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石医療センター	明石市	3					3		
	加古川	1					1		
合計	2	4	0	0	0	0	4	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石市立市民病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明和病院	西宮市	333	85	66	64	56	48	14	23
	芦屋市	32	5	5	5	5	5	4	3
	宝塚市	142	29	28	28	28	23	4	7
	三田市	82	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	334	73	70	70	63	50	10	20
	川西市	71	14	14	14	12	11	2	4
	伊丹市	93	23	14	14	21	17	1	3
	川辺郡	8	2	2	2	1	1		
合計	8	1095	247	215	213	200	169	37	64

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸海星病院	神戸	2	2	2					
合計	1	2	2	2	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路聖マリア病院	姫路市	111	105	104	101	96	66	0	1
	たつの市	1	1	1	1	1	1	0	0
	加東市	1	1	1	1	1	0	0	0
	加西市	1	1	1	1	1	0	0	0
	宍粟市	1	1	1	1	1	1	0	0
	朝来市	3	3	3	3	2	1	0	0
	神崎郡	5	5	5	5	5	2	0	1
	揖保郡	1	1	1	1	1	1	0	0
	多可郡	1	1	1	1	1	0	0	0
合計	9	125	119	118	115	109	72	0	2

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
高砂市民病院	明石市	1	2						
	加古川市	1	1						
合計	2	2	3	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
済生会兵庫県病院	神戸市	18	17	17		14	17		
	三田市	9	7	7		3	7		
	西宮市	2	2	2		2	2		
	三木市	1	1	1		1	1		
合計	4	30	27	27	0	20	27	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸労災病院	神戸市中央区	23	23	23					
	神戸市灘区	22	22	22					
	神戸市東灘区	12	12	12					
	神戸市兵庫区	2	2	2					
	神戸市長田区	1	1	1					
	神戸市須磨区	1	1	1					
	神戸市西区	1	1	1					
	神戸市北区	4	4	4					
	芦屋市	1	1	1					
合計	9	67	67	67	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
新須磨病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立芦屋病院	芦屋市	30	25	25	20	19	6	4	
	西宮市	6	5	5	5	4	4	2	
	神戸市	1			1				
合計	3	37	30	30	26	23	10	6	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立加西病院	明石市	1				1	1		
合計	1	1	0	0	0	1	1	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
甲南医療センター	神戸	2							
合計	1	2	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸低侵襲がん医療センター	神戸	1	1	1	1		1		
合計	1	1	1	1	1	0	1	0	0

地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
371	6,197	4,402	4,252	3,860	3,665	3,109	659	1,187